



取扱説明書

Rev. 3.10

ネットワークソフトウェア DRNET

本ソフトウェアをインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

このたびは、TOA デジタルレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

概 要	4
使用上のご注意	
AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意	4
個人情報について	4
パーソナルコンピューター要件	5
PC へのログインについて	5
付属 CD について	6
ネットワークソフトウェア DRNET とは	
操作できる機器について	7
デジタルレコーダー	7
HD-SDI レコーダー	7
コンビネーションカメラ	7
システム例	8
多地点監視システム	8
複数監視システム	8
インストールのしかた	9
アンインストールのしかた	12
DRNET の起動と終了	
DRNET を起動する	14
DRNET を終了する	15
サイトの接続と切断	
サイトの登録	16
サイトを登録する	16
お気に入りへの登録を行う	19
サイトの接続	22
オートログインについて	23
サイトの切断	24
サイトリストを使用する	24
DRNET ライブ	
画面表示と OSD について	27
ライブ映像を見る	29
ライブ映像の表示方法	29
分割画面を変更する	30
1 画面と分割画面を切り換える	30
フルスクリーンで表示する	31
シーケンス表示する	32
シーケンスを設定する	32
ライブ音声を聞く	34

音声を送信する	35
デジタルレコーダーの状態を監視する	36
イベントポップアップ表示	38
コンビネーションカメラを操作する	38
プリセット登録の操作	41
プリセット移動の操作	41
DRNET 再生	
DRNET 再生に接続する	42
画面表示と OSD について	43
遠隔再生する	45
日時を指定して検索再生する（カレンダー検索）	45
イベントを指定して検索再生する（イベント検索）	48
再生音声を聞く	50
静止画で保存する	51
バックアップ機能	53
複数のカメラをバックアップする	54
MP4 形式でバックアップする	56
AVI 形式でバックアップする	58
バックアップしたデータを再生する	59
独自形式	59
Backup Media Player 形式	62
MP4 形式	64
AVI 形式	66
遠隔設定	
遠隔設定を起動する	70
遠隔設定を終了する	71
遠隔設定の操作について	71
遠隔設定で設定できないこと	71
遠隔設定でモーション範囲を設定する	72
モーション範囲を設定する	73
DRNET 設定	74
システム	75
ディスプレイ	76
使用者	77
ロード	80
保 存	80
デフォルト	80
DRNET ログ	81
DRNET Callback	
遠隔通知イベントを受信するには	83
デジタルレコーダーを設定する	83
DRNET Callback を起動する	84
Callback イベントリストの表示	85
Callback ログ	87
DRNET 設定一覧表	88

概 要

ネットワークソフトウェア DRNET は、ネットワーク接続されたデジタルレコーダーおよび HD-SDI レコーダー（以下 デジタルレコーダー）のライブ映像を遠隔監視したり、録画映像を検索・再生できます。64 分割画面に、最大で 64 台のデジタルレコーダーのライブ映像を表示できます。また、デジタルレコーダーを遠隔設定したり、録画データをバックアップするなど、豊富な機能があります。

使用上のご注意

- 本ソフトウェアを起動している間は、他のアプリケーションを起動しないでください。他のアプリケーションと同時に使用すると、正しく動作しない場合があります。
- ファイアウォールを利用している場合、正しく動作しないことがあります。
- スクリーンセーバーや電源プランの省電力などを利用すると、映像を正しく表示できないことがあります。

● AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取り扱いに関して、MPEG 技術（AVC/H.264 STANDARD）を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。

以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。

MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、(i) AVC/H.264 STANDARD に適合するビデオ（以下、「AVC/H.264」）の符号化、及びまたは、(ii) 個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された AVC/H.264、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された AVC / H.264 の復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM) をご覧下さい。

● 個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

パーソナルコンピューター要件

ネットワークソフトウェア DRNET を正常に動作させるためのパーソナルコンピューター（以下 PC）の推奨要件は、下表のとおりです。

ハードウェア	[HD-SDI レコーダーに接続する場合]	
	CPU	: Intel Core i5 3.1 GHz 以上
	メモリー	: 4 GB 以上
	HDD 空き容量	: 1 GB 以上
	グラフィックス	: VRAM 128 MB 以上 DirectX : 10 / 11
	ディスプレイ	: 解像度 1280 × 1024 以上、24 bit カラー以上
	[C-DR044 / 084 / 164 シリーズ、C-DV044 / 084 / 164 シリーズのみ接続する場合]	
	CPU	: Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上、Intel Core i3 / i5 2.0 GHz 以上
	メモリー	: 2 GB 以上
	HDD 空き容量	: 1 GB 以上
	グラフィックス	: VRAM 128 MB 以上 DirectX : 9.0c / 10 / 11
	ディスプレイ	: 解像度 1024 × 768 以上、24 bit カラー以上
O	S	Windows XP Professional (32 bit 版) Servicepack3 Windows XP Home Edition (32 bit 版) Servicepack3 Windows Vista Business (32 bit 版) Servicepack2 Windows 7 Professional (32 / 64 bit 版) Servicepack1 Windows 8.1 Pro (32 / 64 bit 版)
必須コンポーネント		.NET Framework 2.0

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

PC へのログインについて

本書では、Windows 7 での操作を中心に取扱方法を説明しています。特に記載がない限りは、Windows XP、Windows Vista、Windows 8.1 でも同様の操作で使用してください。

ご注意

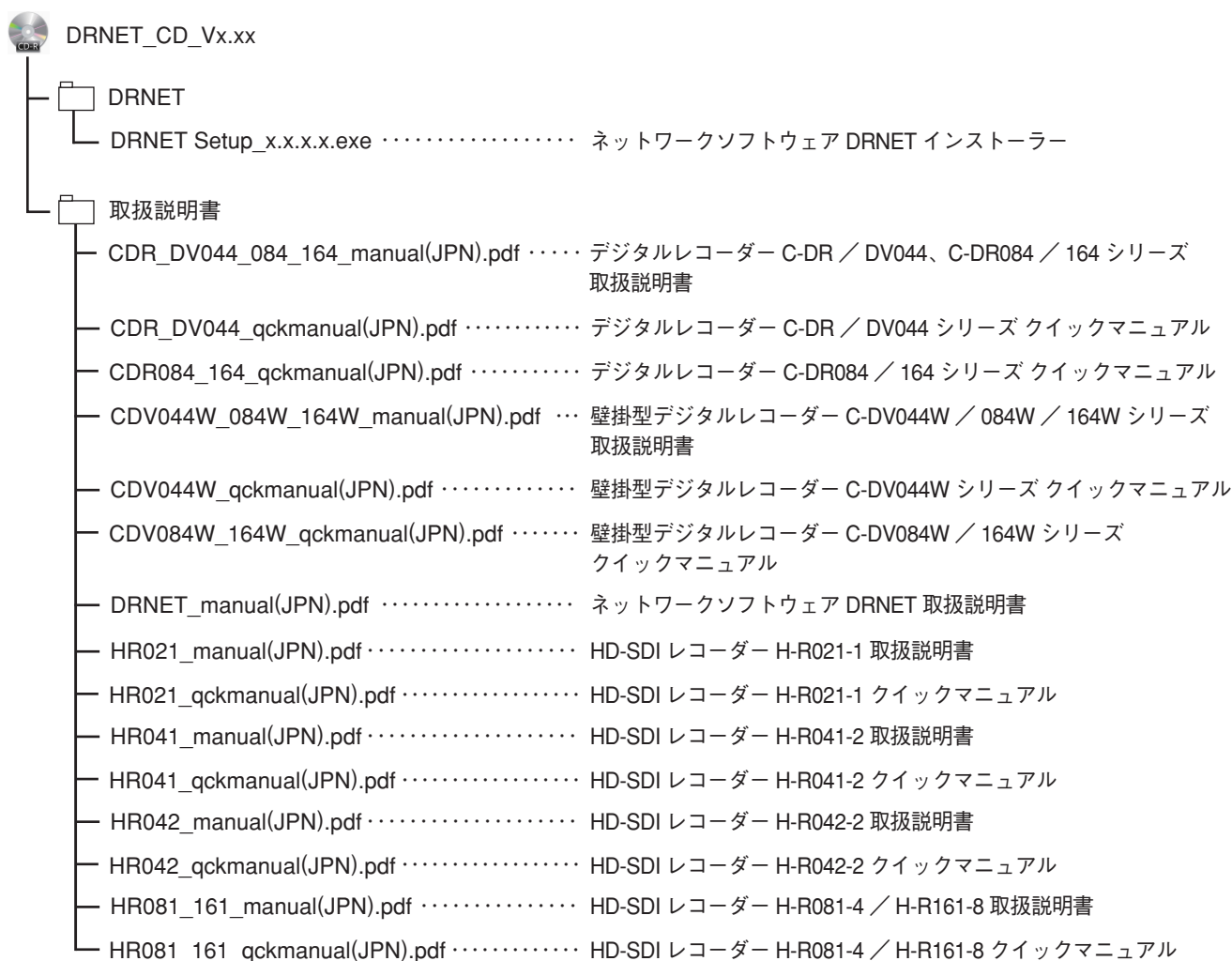
- ネットワークソフトウェア DRNET のインストールを行うときは、PC へのログインは管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーアカウントを使用してください。
インストールしたあとに PC にログインするときは、標準ユーザー権限を持つユーザーアカウントが使用できます。
- ネットワークソフトウェア DRNET の設定内容は、PC にログインするユーザーアカウントごとに保存されます。ネットワークソフトウェア DRNET を使用するユーザーアカウントごとに設定を行ってください。

付属 CD について

付属 CD には以下の内容が収録されています。

- ・ ネットワークソフトウェア DRNET
- ・ ネットワークソフトウェア DRNET 取扱説明書 PDF
- ・ デジタルレコーダー C-DR / DV044 シリーズ、C-DR084 / 164 シリーズ 取扱説明書 PDF
- ・ デジタルレコーダー C-DR / DV044 シリーズ クイックマニュアル PDF
- ・ デジタルレコーダー C-DR084 / 164 シリーズ クイックマニュアル PDF
- ・ 壁掛型デジタルレコーダー C-DV044W / 084W / 164W シリーズ 取扱説明書 PDF
- ・ 壁掛型デジタルレコーダー C-DV044W シリーズ クイックマニュアル PDF
- ・ 壁掛型デジタルレコーダー C-DV084W / 164W シリーズ クイックマニュアル PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R021-1 取扱説明書 PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R021-1 クイックマニュアル PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R041-2 取扱説明書 PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R041-2 クイックマニュアル PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R042-2 取扱説明書 PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R042-2 クイックマニュアル PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R081-4 / H-R161-8 取扱説明書 PDF
- ・ HD-SDI レコーダー H-R081-4 / H-R161-8 クイックマニュアル PDF

また、付属 CD は以下のファイルで構成されています。



ネットワークソフトウェア DRNET とは

ネットワークソフトウェア DRNET（以下 DRNET）は、デジタルレコーダーを遠隔から監視・操作するための PC ソフトウェアです。インストールを行うと、2つのアプリケーションが使用できます。

DRNET

ネットワークで接続されたデジタルレコーダーをライブ監視、再生することができます。ライブ監視では、複数のデジタルレコーダーを同時に監視することができます。

また、デジタルレコーダーの設定や接続しているコンビネーションカメラの操作を行うことができます。

ご注意 H-R021-1 はコンビネーションカメラの操作に対応していません。

DRNET Callback

デジタルレコーダーから遠隔通知されたイベント情報を受けることができます。

イベント情報を発したデジタルレコーダーに対して、DRNET による接続を行うことができます。

■ 操作できる機器について

ネットワークソフトウェア DRNET を使用して閲覧・監視・操作可能なデジタルレコーダーと制御可能なコンビネーションカメラは以下の通りです。

● デジタルレコーダー

[デジタルレコーダー 4局シリーズ]

C-DR044-5、C-DR044-10、C-DV044-5、C-DV044-10

[デジタルレコーダー 8局シリーズ]

C-DR084-5、C-DR084-10

[デジタルレコーダー 16局シリーズ]

C-DR164-10、C-DR164-20

[壁掛型デジタルレコーダー 4局シリーズ]

C-DV044W5

[壁掛型デジタルレコーダー 8局シリーズ]

C-DV084W10

[壁掛型デジタルレコーダー 16局シリーズ]

C-DV164W10

● HD-SDI レコーダー

H-R021-1、H-R041-2、H-R042-2、H-R081-4、H-R161-8

● コンビネーションカメラ

上記のデジタルレコーダーから制御できるように接続され、以下の設定を行ったコンビネーションカメラのみ制御可能です。

ご注意 H-R021-1 はコンビネーションカメラの制御に対応していません。

カメラアドレス : 接続したデジタルレコーダーのカメラアドレス設定に合わせる

通信速度 : 38,400 bps

通信方式 (カメラプロトコル) : タイプ B プロトコル (TOA-B)

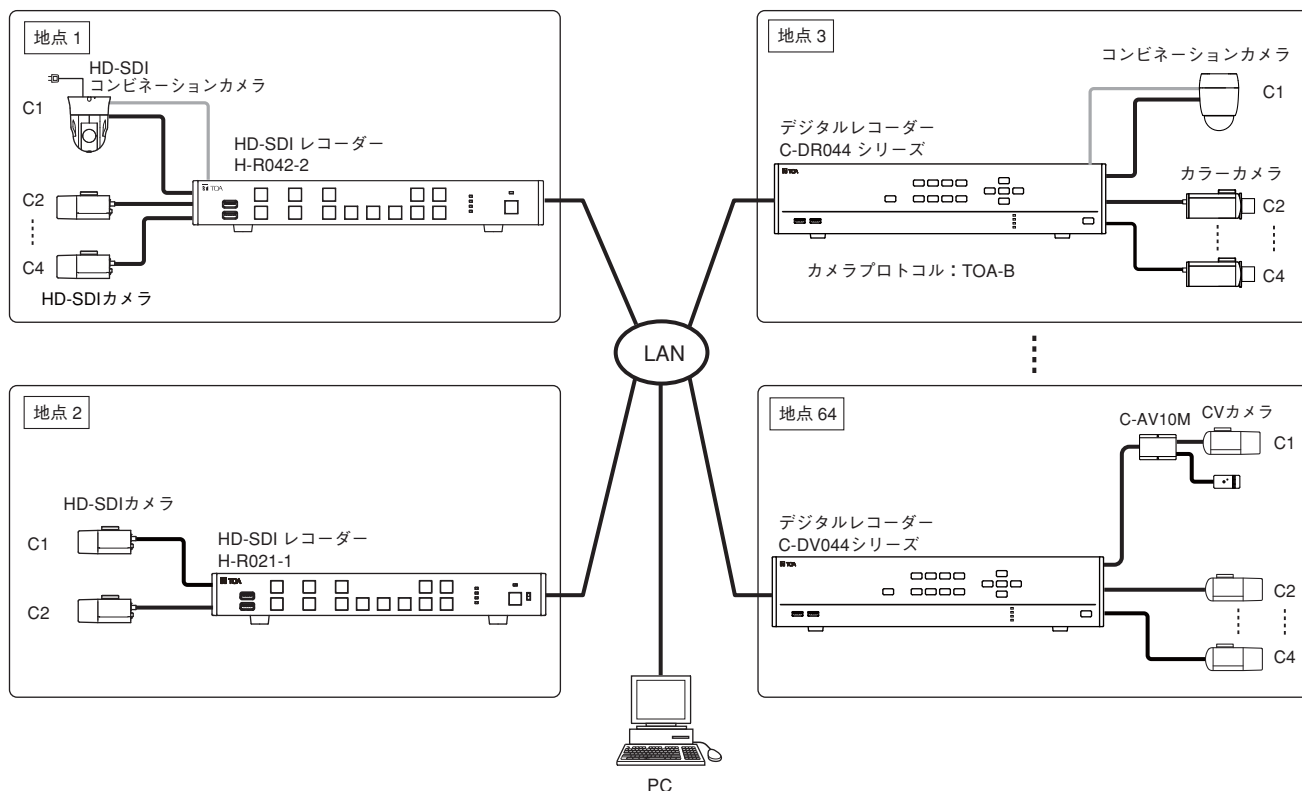
終端 : ON (RS-485 制御線の末端のカメラのみ)

ご注意 コンビネーションカメラを制御するには、デジタルレコーダーの設定も必要です。詳しくは、デジタルレコーダーの「取扱説明書」を参照してください。

■ システム例

● 多地点監視システム

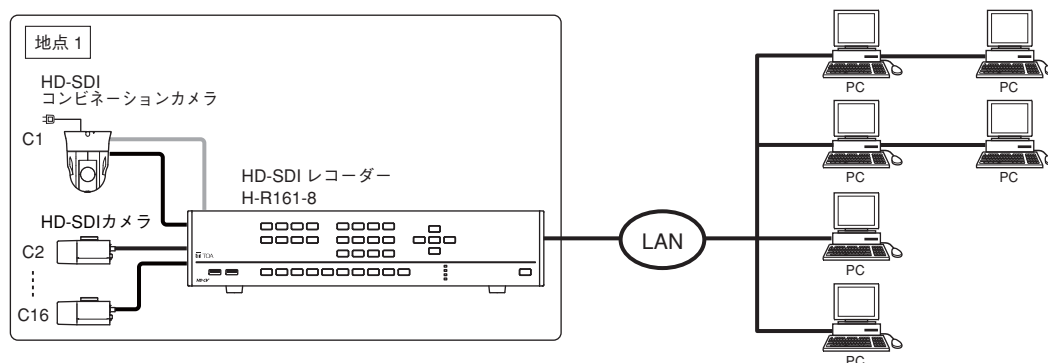
DRNET は 64 分割画面での遠隔監視が可能です。最大 64 台のデジタルレコーダーに同時に接続できます。



● 複数監視システム

1 台のデジタルレコーダーに 6 つの DRNET を同時に接続できます。

メモ Web サーバー機能での接続も 6 つの同時接続に含まれます。1 台の PC で複数の DRNET を起動した場合は、複数として数えます。



ただし、同時に接続できる DRNET のアプリケーションには、以下の制限があります。

DRNET ライブ：4 つ

DRNET 再生：2 つ

遠隔設定：1 つ

ご注意

デジタルレコーダーで録画・再生・バックアップの操作が複数同時に行われているなど負荷が高くなる状態では、ネットワーク配信レートどおりにライブ映像を配信できないことや、再生速度が遅くなることがあります。

インストールのしかた

DRNET を PC にインストールします。

ご注意

- 管理者（Administrator）権限を持つユーザーアカウントでログインした状態で行ってください。
- インストールを行うときは、.NET Framework 2.0 がインストールされている必要があります。
.NET Framework 2.0 がインストールされていないと、ネットワークソフトウェア DRNET インストール時に警告メッセージが表示されます。Microsoft 社の[ダウンロードセンター](#)から入手してください。
- インストールを行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。

1 付属の CD-ROM を PC の CD ドライブに入れる。

PC が CD-ROM を認識し、自動再生ウィンドウを表示します。自動再生ウィンドウを表示しない場合は、PC の CD ドライブに「DRNET_CD_Vx.xx」と表示します。

「x.xx」には付属 CD のバージョン番号が入ります。

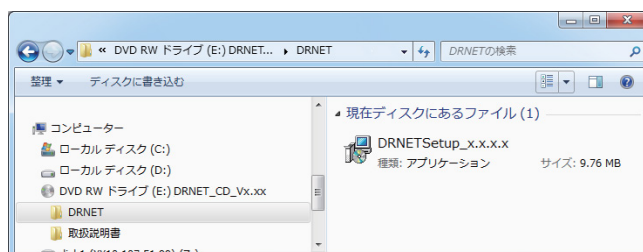


2 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。

「DRNET_CD_Vx.xx」フォルダーを開きます。自動再生ウィンドウを表示しない場合は、PC の CD ドライブを開いてください。

3 「DRNET」フォルダーを開く。

以下の画面を表示します。ファイル構成の詳細は、[P. 6](#)「付属 CD について」を参照してください。



4 「DRNET Setup_x.x.x.x」をダブルクリックする。

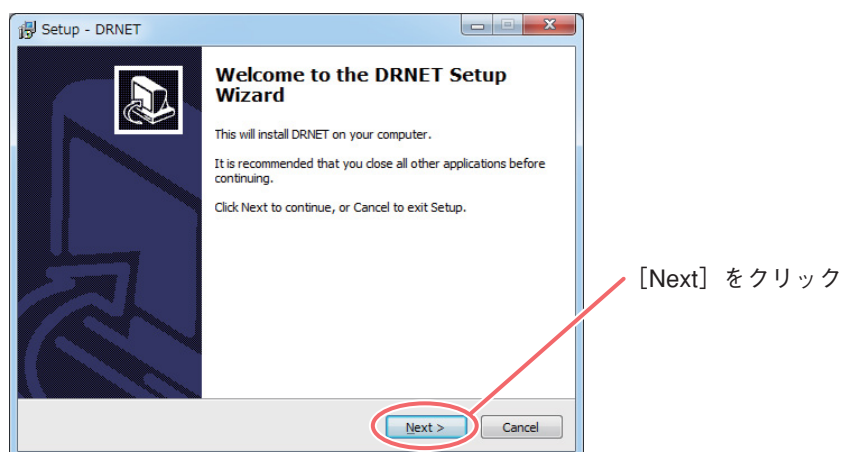
ユーザーアカウント制御の警告画面を表示します。

メモ

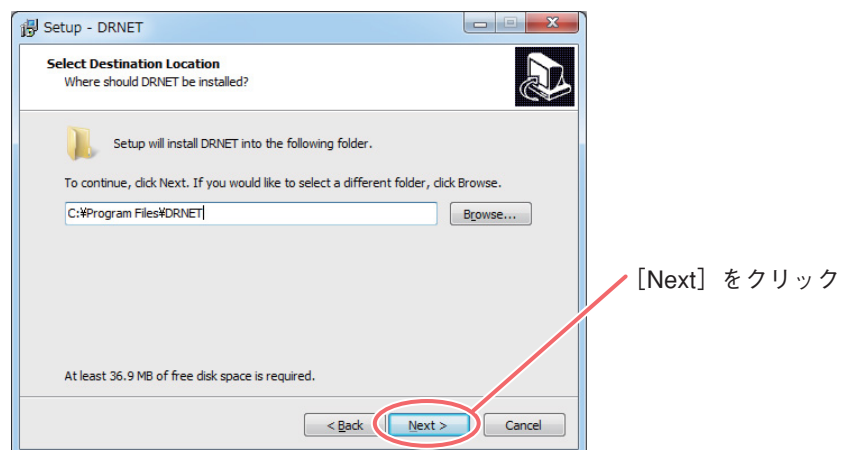
- 「x.x.x.x」にはDRNETのバージョン番号が入ります。
- Windows XPではユーザーアカウント制御の警告画面は表示されません。



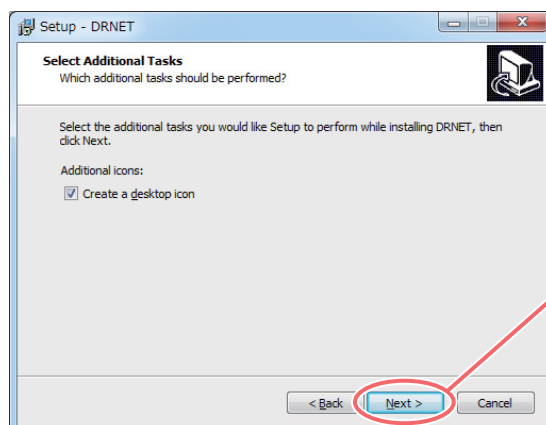
DRNETのインストーラーが起動し、以下の画面を表示します。画面の指示に従い、インストールを行ってください。



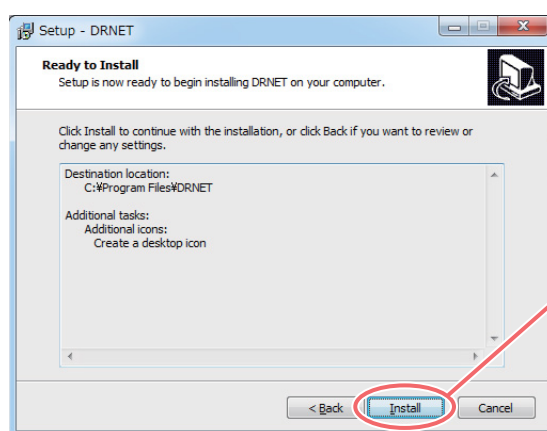
インストールするフォルダーを指定します。変更する必要が無ければ「Next」をクリックします。変更する場合は、「Browse...」をクリックしてインストールするフォルダーを指定してください。



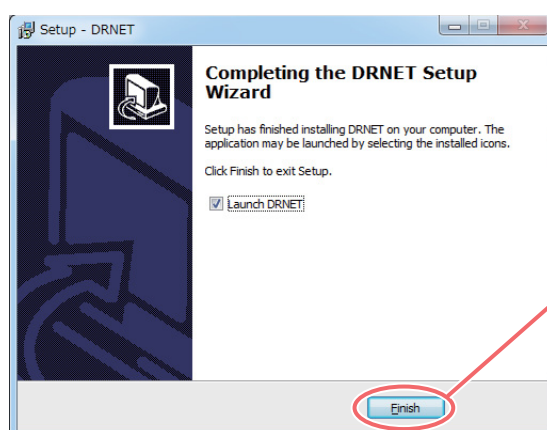
デスクトップにDRNETのショートカットアイコンを作成します。



インストールする準備ができました。「Install」をクリックして、インストールを進めてください。



インストールを開始します。インストールの経過を進捗バーで表示します。
インストールが正常に完了すると、以下の画面を表示します。「Finish」をクリックすると以下の画面は消え、インストールを終了します。



インストールが完了すると、デスクトップに以下のショートカットが作成されます。



アンインストールのしかた

インストールした DRNET をアンインストールするときは、以下の手順で行ってください。

ご注意

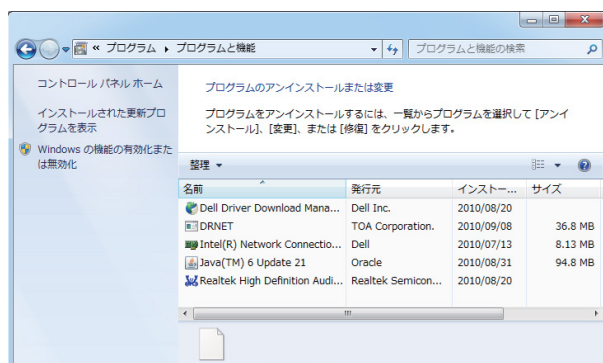
アンインストールは、DRNET と DRNET Callback を終了してから行ってください。また、アンインストールを行うときはすべてのアプリケーションを終了し、すべてのウイルス対策ソフトウェアを終了してください。ウイルス対策ソフトウェアは、アンインストール完了後に再起動してください。

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネルウィンドウが表示されます。



- 2 「プログラムのアンインストール」をクリックする。
「プログラムと機能」ウィンドウが表示されます。

☒ ☒ Windows XP では「プログラムの追加と削除」をダブルクリックしてください。



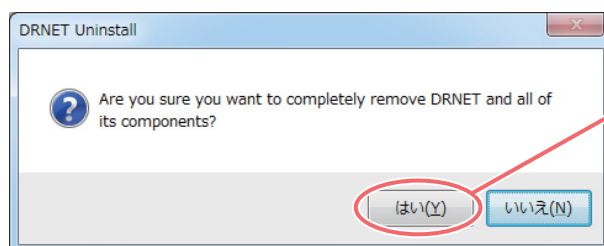
- 3 「DRNET」をダブルクリックする。
アンインストールの確認メッセージを表示します。

☒ ☒ Windows XP では DRNET を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

4 「はい」をクリックする。

アンインストールが実行されます。

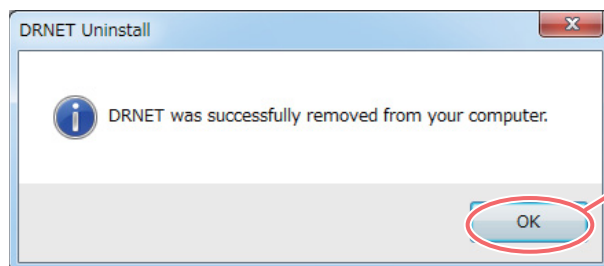
アンインストールが終了すると完了メッセージが表示されます。



[はい] をクリック

5 「OK」をクリックする。

アンインストールが完了すると「プログラムと機能」ウィンドウの「DRNET」の表示が消えます。



[OK] をクリック

メモ

DRNET をアンインストールしても、一部のファイルは削除されません。すべて削除する場合は、以下のフォルダーを削除してください。

[Windows XP の場合]

C:\¥Documents and Setting¥[ユーザーアカウント名]¥Local Settings¥Application Data¥DRNET

[Windows Vista / 7 / 8.1 の場合]

C:\¥ユーザー¥[ユーザーアカウント名]¥App Data¥Local¥DRNET

DRNET の起動と終了

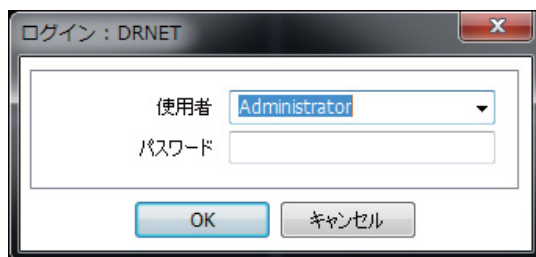
■ DRNET を起動する

- 1 DRNET のショートカットアイコンをダブルクリックする。
DRNET が起動し、ログイン画面が表示されます。



メモ スタートメニューの「すべてのプログラム → DRNET」からも DRNET を起動できます。

- 2 使用者を選択する。
インストール後の初回起動時は Administrator を選択してください。
起動後に新しい使用者を作成できます。(P. 77 「使用者」)



- 3 パスワードを入力する。

メモ

インストール後の Administrator のパスワードは設定されていません。運用前に必ずパスワードを設定してください。(P. 77 「使用者」)

- 4 「OK」をクリックする。

■ DRNET を終了する

- 1 DRNET ライブ画面または DRNET 再生画面右上にある「X」ボタンをクリックする。
確認メッセージを表示します。



- 2 「はい」をクリックする。
DRNET を終了します。

サイトの接続と切断

デジタルレコーダーの映像を見たり、操作するにはデジタルレコーダーとPCをネットワーク接続する必要があります。DRNETでは、接続するデジタルレコーダーを「サイト」として扱います。

ご注意 登録できるデジタルレコーダーの種類は P. 7 「操作できる機器について」を確認してください。

■ サイトの登録

登録されたサイト情報は、DRNET ライブ、DRNET 再生、遠隔設定で使します。

● サイトを登録する

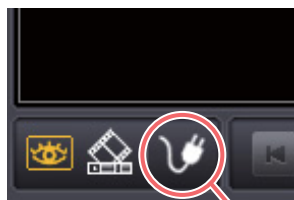
デジタルレコーダーと接続するための設定を行います。

1 DRNET を起動する。

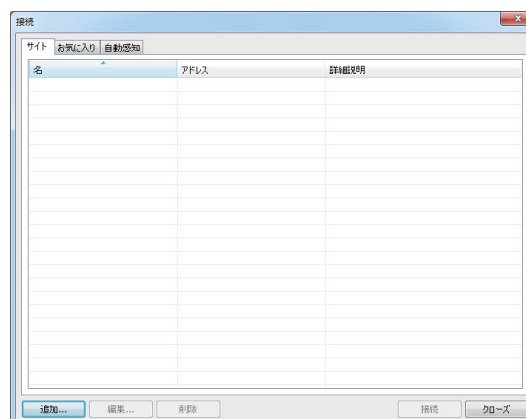
DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



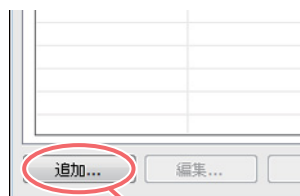
2 DRNET ライブ画面左下の「接続／切断ボタン」をクリックする。 接続画面を表示します。



「接続／切断ボタン」
をクリック



- 3** 「サイト」タブをクリックし、「追加」をクリックする。
遠隔サイト追加画面を表示します。

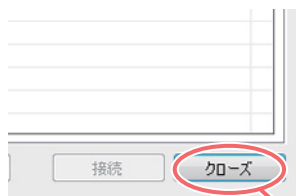


[追加] をクリック

A screenshot of a dialog box titled '遠隔サイト追加' (Add Remote Site). It contains several input fields: '名' (Name), 'アドレス' (Address), 'ポート' (Port) with the value '10101', '詳細説明' (Detailed Description), 'オートログイン' (Auto Login) checkbox, '使用者' (User) dropdown, 'パスワード' (Password), and '画面分割' (Screen Split) dropdown with the value '変更なし' (No Change). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- 4** 遠隔サイト追加画面で必要な項目を入力し、「OK」をクリックする。
「名」、「アドレス」は必ず入力してください。(P. 18 「遠隔サイト追加画面」)
「OK」をクリックすると接続画面の「サイト」タブにサイトが追加されます。

- 5** 接続画面の「クローズ」をクリックする。



[クローズ] をクリック

[遠隔サイト追加画面]

- ① 名 : サイトの名称を入力します。このPCでのみ使用される名称です。漢字、カタカナ、ひらがな、英数文字、記号が使用できます。

「%」の記号は使用できません。
- ② アドレス : 登録するデジタルレコーダーのIPアドレスを入力します。
- ③ ポート : 登録するデジタルレコーダーのネットワークポート番号に合わせてください。デジタルレコーダーの工場出荷時のネットワークポートの設定は「10101」です。
- ④ 詳細説明 : 登録するデジタルレコーダーに関する説明を入力します。入力しなくても接続できます。
- ⑤ オートログイン : デジタルレコーダー接続時に以下で設定する「使用者」と「パスワード」でログインする場合は、「オートログイン」にチェックを入れてください。オートログインを使用しない場合は、接続のたびに使用者とパスワードを入力する必要があります。
- ⑥ 使用者 : デジタルレコーダーに登録されているユーザーIDを入力します。オートログインにチェックが入っていると有効になります。

「Administrator」権限のユーザーを使用する場合はプルダウンメニューから選択できます。
- ご注意**
デジタルレコーダーのユーザー権限でネットワークで行いたい操作の権限を持つユーザーが接続可能です。デジタルレコーダーに登録されていないユーザーでは接続できません。
- ⑦ パスワード : 使用者のパスワードを入力します。
- ⑧ 画面分割 : デジタルレコーダー接続時の分割画面表示をプルダウンメニューから選択します。
[選択] 変更なし、1×1、2×2、3×3、4×4、5×5、6×6、7×7、8×8

「変更なし」を選択すると、接続時のDRNETの分割画面の状態で接続します。
- ⑨ OK : 設定を保存して画面を閉じます。
- ⑩ キャンセル : 設定を保存しないで画面を閉じます。

● お気に入りへの登録を行う

最大 64 台のカメラを DRNET ライブの 64 分割画面に自由に配置し、お気に入りとして登録することができます。

ご注意 お気に入りへ登録するデジタルレコーダーは、事前にサイトとして登録しておく必要があります。

1 DRNET を起動する。

DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。

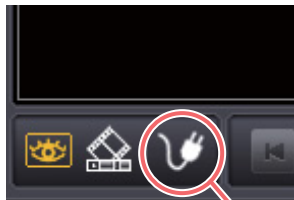


2 DRNET ライブ画面左下の「接続／切断ボタン」をクリックする。

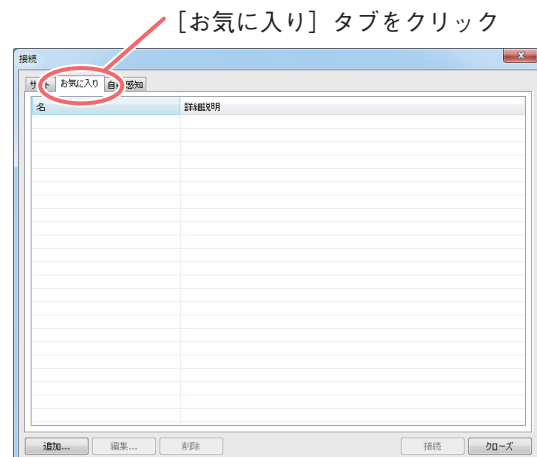
接続画面を表示します。

メモ

「お気に入り」への登録は、DRNET ライブ画面で行います。DRNET 再生画面からは登録できません。

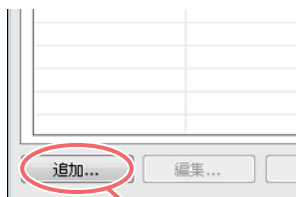


[接続／切断ボタン]
をクリック



3 「お気に入り」タブをクリックし「追加」をクリックする。

お気に入り追加画面を表示します。

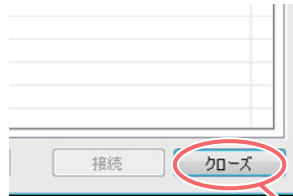


[追加] をクリック



- 4** お気に入り追加画面ですべての項目を入力または選択し、「OK」をクリックする。
「名」は必ず入力してください。(P. 21「お気に入り追加画面」)
「OK」をクリックすると接続画面の「お気に入り」タブにグループが追加されます。

- 5** 接続画面の「クローズ」をクリックする。



[クローズ] をクリック

[お気に入り追加画面]

- ① 名 : お気に入りの名称を作成し入力します。このPCでのみ使用される名称です。漢字、カタカナ、ひらがな、英数文字、記号が使用できます。

「%」の記号は使用できません。
- ② 詳細説明 : お気に入りについての説明を入力します。入力しなくても接続できます。
- ③ 画面分割 : 接続時の分割画面を選択します。
[選択] 変更なし / 1×1 / 2×2 / 3×3 / 4×4 / 5×5 / 6×6 / 7×7 / 8×8
 「変更なし」を選択すると、その時点のDRNETの分割画面の状態で接続します。
- ④ カメラ配置 : DRNETライブの64分割画面のカメラチャンネル位置を表します。
- ⑤ サイト選択 : サイトを選択します。あらかじめサイトを登録する必要があります。(P. 16「サイトを登録する」)
- ⑥ カメラ選択 : ⑤で選択したサイトのカメラチャンネルを選択します。

 - サイト選択を行うと、カメラ選択のプルダウンメニューが可能になります。
 - 1度も接続していないサイトの場合、CAM1～16と表示されます。存在しないカメラチャンネルを選択すると、黒画面で表示されます。1度でも接続したサイトの場合、デジタルレコーダーで使用しているカメラ名称が表示されます。
- ⑦ OK : 設定を保存して画面を閉じます。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存しないで画面を閉じます。

[サイト登録の編集]

すでに登録された「サイト」や「お気に入り」の設定を編集する場合は、編集したいリストを選択し、「編集」をクリックしてください。編集画面が表示されます。内容を変更した後、「OK」をクリックすると、変更内容が反映されます。

また、リストを削除する場合は、削除したいリストを選択し、「削除」をクリックしてください。確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると削除します。

■ サイトの接続

サイトに接続するには、あらかじめサイトを登録する必要があります。(P. 16 「サイトを登録する」)

1 DRNET を起動する。

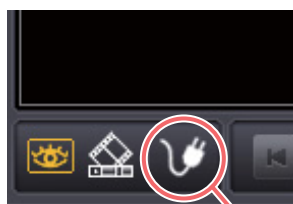
DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



メ モ スタートメニューの「すべてのプログラム → DRNET」からも DRNET を起動できます。

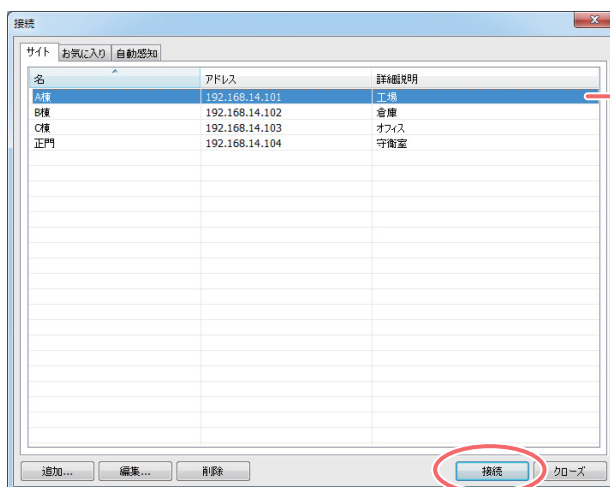
2 DRNET ライブ画面左下の「接続／切断ボタン」をクリックする。

接続画面を表示します。



「接続／切断ボタン」
をクリック

3 「サイト」タブをクリックし、リストから接続先を選択して「接続」をクリックする。



クリックして選択

「接続」をクリック

接続画面が閉じ、ログイン画面が表示されます。

メ モ

サイトの登録時に、「オートログイン」にチェックを入れた場合は、ログイン画面は表示しません。接続画面が閉じ、DRNETがデジタルレコーダーに接続されます。

4 使用者に「Administrator」または、デジタルレコーダーで登録したネットワーク権限のあるユーザー名を入力する。

5 パスワードを入力する。

6 「OK」をクリックする。

ログインが完了し、デジタルレコーダーにDRNETが接続されます。

● オートログインについて

デジタルレコーダー接続時に毎回「使用者」と「パスワード」を入れずにログインするには、サイト登録で「オートログイン」にチェックを入れてください。(P. 16「サイトを登録する」)

設定をしない場合は、デジタルレコーダー接続時にログイン画面が表示されます。「使用者」、「パスワード」を入力し、ログインしてください。

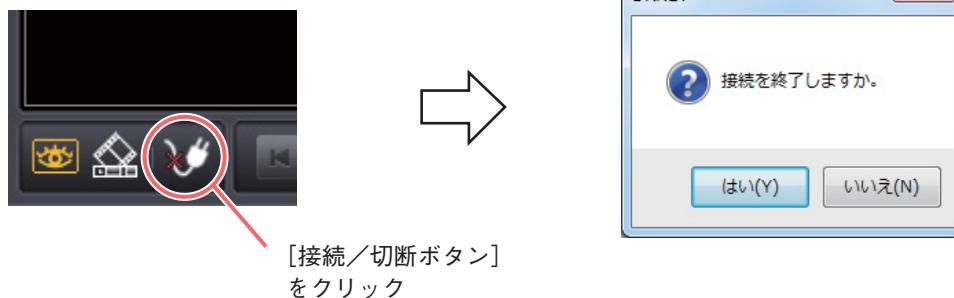
ご注意

オートログインの設定をしていないサイトが、お気に入りに含まれている場合には、接続時にログイン画面が表示されます。ログイン画面のサイト名を確認して、それぞれのサイトに応じた「使用者」と「パスワード」でログインしてください。

■ サイトの切断

接続中のサイトを切断するには、以下の手順で行ってください。

- 1 DRNET ライブ画面左下の「接続／切断ボタン」をクリックする。
確認メッセージを表示します。

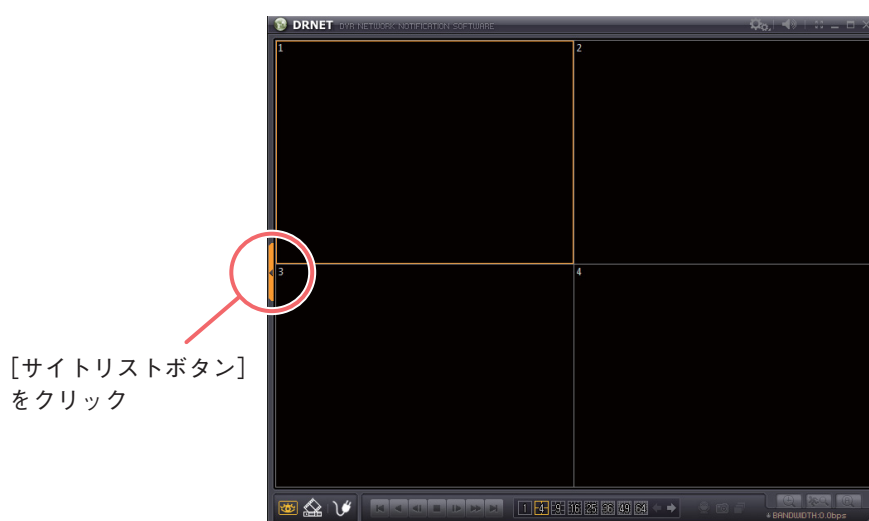


- 2 「はい」をクリックする。
サイトが切断されます。

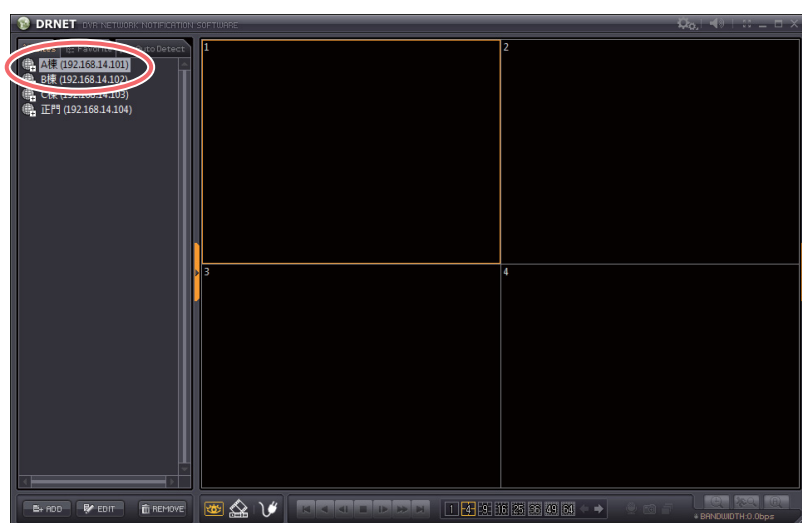
■ サイトリストを使用する

サイトリストを使用してサイトの接続を行います。

- 1 画面左の「サイトリストボタン」をクリックする。
サイトリストが表示されます。(P. 26 「サイトリスト：Sites タブ」、「サイトリスト：Favorite タブ」)



2 接続するサイトを選択する。



3 選択したサイト上で右クリックする。 選択メニューが表示されます。



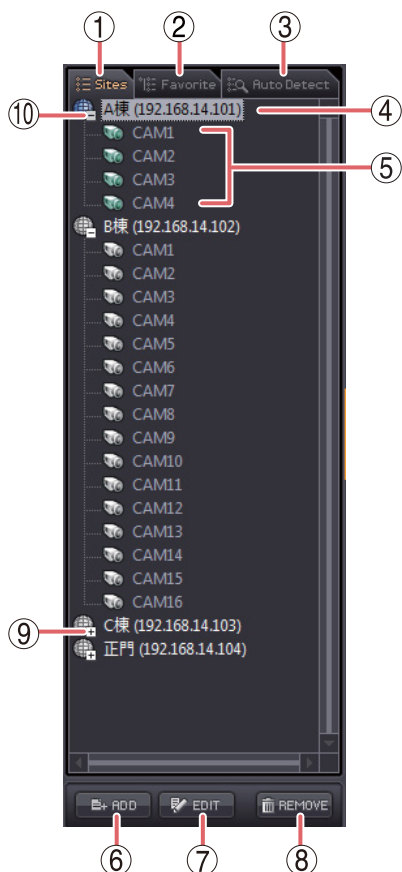
4 「接続」をクリックする。

サイトに接続します。

メ モ

「編集」をクリックすると、選択したサイトの情報を編集し、「削除」をクリックするとサイトを削除します。

[サイトリスト：Sites タブ]



- ① Sites タブ : サイトをリスト表示します。
- ② Favorite タブ : お気に入りをリスト表示します。

メ モ

 DRNET 再生では使用できません。
- ③ Auto Detect タブ : 使用できません。
- ④ サイト : 登録されているサイト名と IP アドレスを表示します。サイトに接続中は、アイコンの色が青色に変わります。
- ⑤ カメラ名 : サイト内のカメラ名称を表示します。サイトに接続中は、アイコンの色が緑色に変わります。
- ⑥ ADD : サイトを追加します。(P. 16「サイトを登録する」)
- ⑦ EDIT : 選択しているサイトの情報を編集します。
- ⑧ REMOVE : 選択しているサイトを削除します。
- ⑨

+

 : クリックすると、サイトのカメラ名を表示します。

メ モ

 これまでに接続したことのないサイトの名称は、CAM1～CAM16と表示します。
- ⑩

-

 : クリックすると、カメラ名の表示を閉じます。

[サイトリスト：Favorite タブ]



- ① Sites タブ : サイトをリスト表示します。
- ② Favorite タブ : お気に入りをリスト表示します。

メ モ

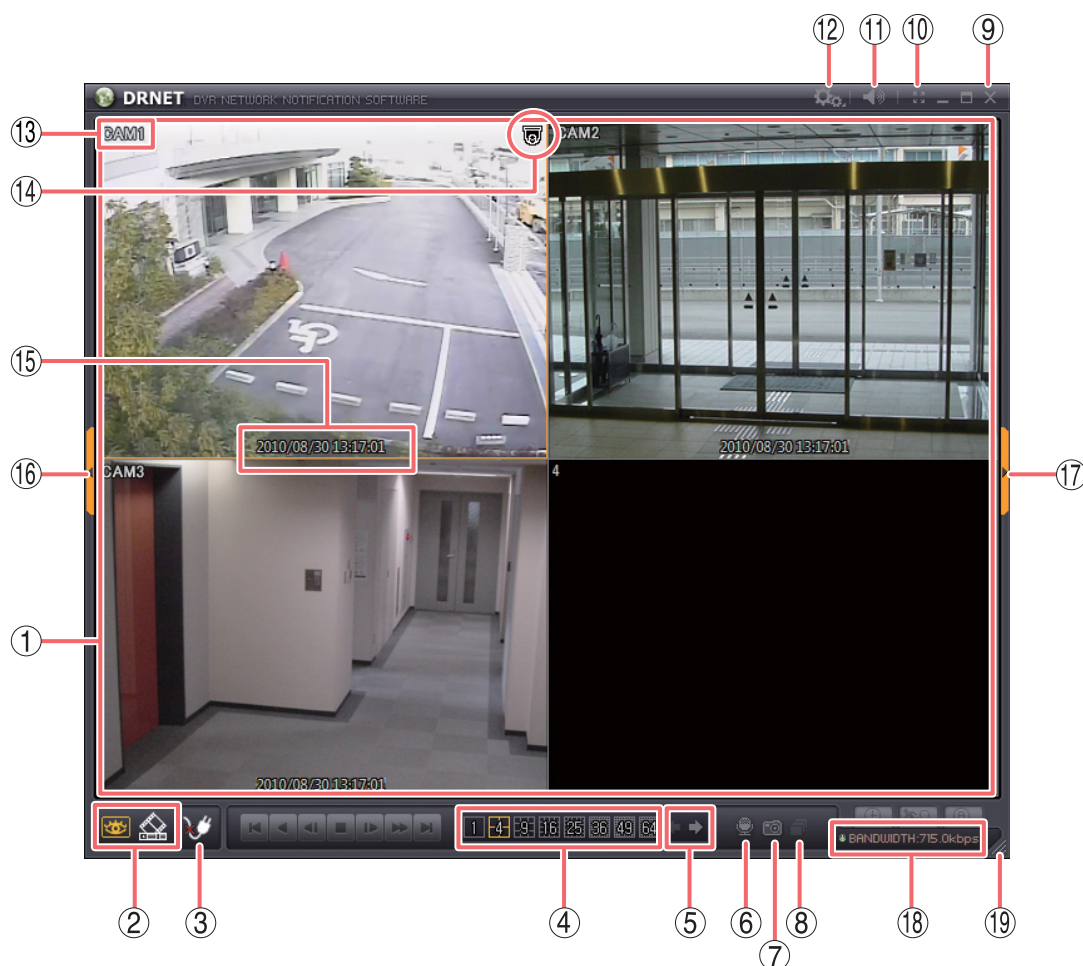
 DRNET 再生では使用できません。
- ③ Auto Detect タブ : 使用できません。
- ④ お気に入り : 登録されているお気に入りを表示します。お気に入りに接続中は、アイコンの色が青色に変わります。
- ⑤ ADD : お気に入りを追加します。(P. 19「お気に入りへの登録を行う」)
- ⑥ EDIT : 選択しているお気に入りの情報を編集します。
- ⑦ REMOVE : 選択しているお気に入りを削除します。

DRNET ライブ

ご注意

- DRNET ライブの使用は、遠隔ライブ操作権限のあるユーザーのみ可能です。
- デジタルレコーダーが再生中は、遠隔ライブの配信レートは1～4 ips (image per second) になります。

画面表示と OSD について



- ① ビューパネル
：ライブ映像を表示します。映像入力がOFFの場合は、黒い画面を表示します。ビデオロスの場合は、青い画面を表示します。また、選択中のカメラはオレンジ色の枠で表示します。
- ② モード切換ボタン
■ 遠隔ライブボタン
：遠隔ライブボタンが有効のときオレンジ色に点灯し、DRNET ライブ画面であることを表します。
■ 遠隔再生ボタン
：DRNET 再生モードに切り換わります。遠隔ライブ接続中は通信を切断します。
- ③ 接続／切断ボタン
：サイトの接続／切断を行います。(P. 16「サイトの接続と切断」)
- ④ 分割画面選択ボタン
：分割画面を変更できます。1画面、4、9、16、25、36、49、64 分割画面を表示します。(P. 30「分割画面を変更する」)
- ⑤ ページ切換ボタン
：選択した分割画面のページ切換を行います。◀ ボタンをクリックすると前ページへ、▶ ボタンをクリックすると次ページへ切り換えます。

- ⑥ 音声送信ボタン : 接続中のサイトに音声を送信することができます。(P. 35「音声を送信する」)
- ⑦ 画面保存ボタン : 表示している画面を静止画として JPEG、BMP、または PNG 形式で保存します。(P. 51「静止画で保存する」)
- ⑧ シーケンスボタン : シーケンスを開始／停止します。(P. 32「シーケンス表示する」)
- ⑨ 閉じるボタン : デジタルレコーダーとの通信を切断し、DRNET を終了します。
- ⑩ フルスクリーンボタン : ビューパネルのみを全画面表示します。全画面表示中に画面をクリックすると、全画面表示を解除します。

ご注意

全画面表示中に 1 画面表示にしたり、分割画面を変更したりすることはできません。全画面表示を解除してから行ってください。

- ⑪ 音量調整ボタン : 音量を調節できます。ミュートをクリックすると音声の出力を ON／OFF します。(P. 34「ライブ音声を聞く」)
- ⑫ 設定ボタン : 接続中のサイトの遠隔設定 (P. 70「遠隔設定」) または、DRNET の設定 (P. 74「DRNET 設定」) を選択します。
- ⑬ カメラ名 : デジタルレコーダー設定メニューの「デバイス設定 → カメラ → カメラタブ」のタイトルで設定したカメラ名称を表示します。
- ⑭ カメラアイコン : コンビネーションカメラを表します。デジタルレコーダー設定メニューの「デバイス設定 → カメラ → PTZ タブ」のカメラプロトコルが「TOA-B」に設定されている場合に表示します。

ご注意

カメラプロトコルが設定されていない場合、またはネットワーク PTZ 権限を持たないユーザー ID で接続した場合には、何も表示されません。

- ⑮ 現在日時表示 : 接続中のサイトの現在日時を表示します。表示形式は、DRNET 設定で変更することができます。(P. 76「ディスプレイ」)
- ⑯ サイトリストボタン : サイトリストを表示します。サイトリスト表示中にクリックするとサイトリストを閉じます。
- ⑰ ツールパネルボタン : ツールパネルを表示します。ツールパネル表示中にクリックするとツールパネルを閉じます。
- ⑱ BANDWIDTH : DRNET が 1 秒間に受信しているデータサイズをビット単位で表示します。
- ⑲ 画面サイズ : 画面のサイズを変更できます。

ご注意

- カメラ名、カメラアイコンを非表示にすることはできません。
- デジタルレコーダーの録画状態を確認できる OSD 表示はありません。デジタルレコーダーの録画状態を確認したい場合は、遠隔設定を起動して、「録画設定 → 録画 → スケジュールタブ」、「録画設定 → 録画ツール → 録画ステータスタブ」の内容を参考にしてください。(P. 70「遠隔設定」)

■ ライブ映像を見る

● ライブ映像の表示方法

DRNET ライブでライブ映像を見るには、以下の手順で行います。

ご注意

- DRNET ライブとの接続は、デジタルレコーダーに登録されたネットワークライブ権限を持つユーザーで可能です。デジタルレコーダーに登録されていないユーザーでは接続できません。
- デジタルレコーダーが再生中は、遠隔ライブの配信レートは1～4 ips になります。
- PC の性能により、ライブ映像の描画更新速度が異なります。複数台のデジタルレコーダーを同時に監視する場合、PC の性能によっては設定した配信レートで描画更新できないことがあります。また、ネットワーク環境や PC の動作状態により、映像の更新速度が一定にならず、飛ばして表示されることもあります。
- デジタルレコーダー設定メニュー「録画 → 録画設定」の解像度が「D1 (720 × 480)」に設定されている場合、くし状のインターレースノイズを自動的に除去して表示します。ただし、自動的に判断するため、動きのある映像でノイズが除去されないことがあります。(HD-SDI レコーダーは、解像度が「D1 (720 × 480)」の設定はありません。)
- デジタルレコーダー設定メニュー「デバイス → カメラ → マスク設定」でマスク設定のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像は表示されません。(HD-SDI レコーダーに登録されたマスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザーは、マスク設定のモードに関係なく映像が表示されます。)

1 DRNET を起動する。

DRNET ライブ画面が表示されます。

DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



メ モ スタートメニューの「すべてのプログラム → DRNET」からも DRNET を起動できます。

2 DRNET ライブ画面左下の「遠隔ライブボタン」をクリックする。



「遠隔ライブボタン」をクリック

3 「接続／切断ボタン」からデジタルレコーダーに接続する。

デジタルレコーダーへの接続手順は P. 22 「サイトの接続」を参照してください。

接続と同時にデジタルレコーダーのカメラ映像がビューパネルに表示されます。

● 分割画面を変更する

1画面、4、9、16、25、36、49、64分割画面の8種類で表示できます。ビューパネル下側の分割画面選択ボタンをクリックすると、切り換えることができます。

分割画面選択ボタンのクリックで表示される画面（グループ）は、オレンジ色の枠で選択されているカメラによって決定されます。例えば、カメラ1を選択中に9分割ボタンをクリックした場合には、カメラ1～9の9分割画面を表示し、カメラ10を選択中に9分割ボタンをクリックした場合には、カメラ10～16の9分割画面を表示します。

分割画面選択ボタンをクリックする前に、選択中のカメラの確認をしてください。

メ モ

同じ分割画面の別の画面（グループ）の映像に切り換える場合は、ページ切換ボタンをクリックしてください。◀ををクリックすると、前の画面（グループ）の映像に、▶をクリックすると、次の画面（グループ）の映像に切り換わります。

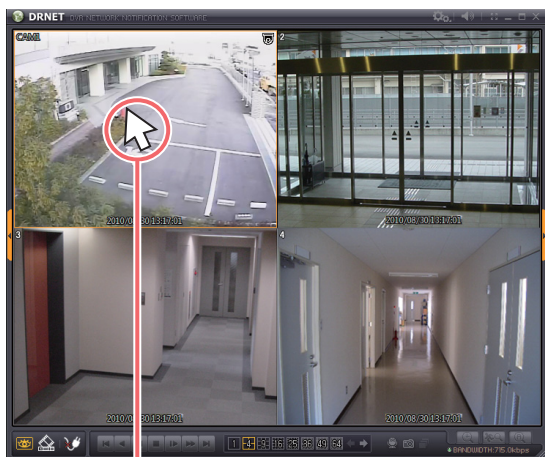
ご注意

デジタルレコーダー設定メニューの「ディスプレイ → 表示 → 表示レイアウト」で設定したレイアウトはDRNETに反映されません。（HD-SDIレコーダーは、表示レイアウトの設定はありません。）

DRNETのレイアウトは、お気に入りへの登録で行ってください。（P. 19「お気に入りへの登録を行う」）

● 1画面と分割画面を切り換える

1画面表示したいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、ビューパネルの画面をダブルクリックすると1画面表示になります。さらにダブルクリックすると、元の画面に戻ります。



ダブルクリック



ダブルクリック

● フルスクリーンで表示する

ビューパネルのみを PC モニターに全画面表示します。フルスクリーンボタンをクリックすると全画面表示し、全画面表示中に画面をクリックすると、全画面表示を解除します。

ご注意

全画面表示中に分割画面を変更したり、1 画面表示にすることはできません。全画面表示を解除してから行ってください。

[フルスクリーンボタン]
をクリック



画面上で
クリック



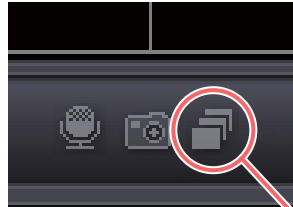
● シーケンス表示する

サイトやお気に入りごとにビューパネルの画面を自動的に切り換えて表示します。

1 「シーケンスボタン」をクリックする。

シーケンス表示を開始します。

再度「シーケンスボタン」をクリックするとシーケンス表示を終了します。



「シーケンスボタン」をクリック

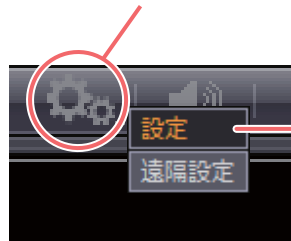
● シーケンスを設定する

シーケンスボタンを有効にするには、シーケンスの設定が必要です。

ご注意 シーケンスの設定は DRNET 設定権限のあるユーザーのみ可能です。

1 「設定ボタン」をクリックする。

「設定ボタン」をクリック



「設定」をクリック

2 「設定」をクリックする。

設定画面が表示されます。

3 「シーケンス」タブをクリックする。

シーケンス設定画面が表示されます。(P. 33 「シーケンス設定画面」)

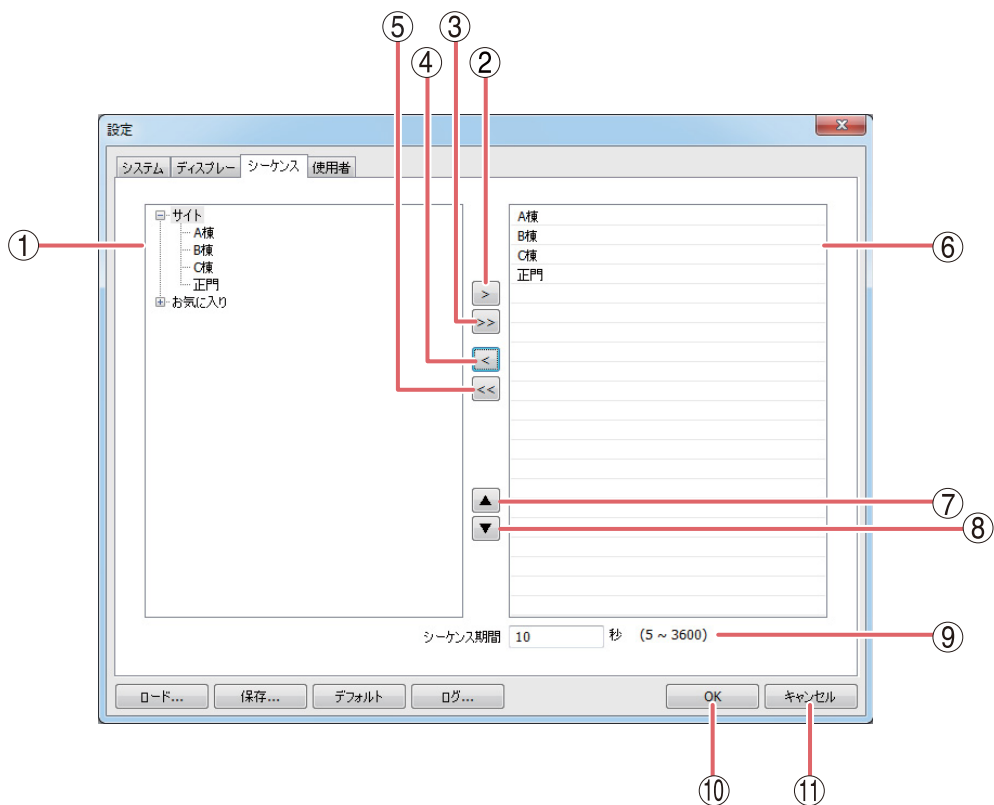
4 シーケンスの順序とシーケンス期間を入力する。

サイトリストからシーケンス表示するサイトを選び、シーケンスリストを作成してください。

5 「OK」ボタンをクリックする。

シーケンス設定画面を閉じます。

[シーケンス設定画面]



- ① サイトリスト : 登録されたサイトとお気に入りを表示します。クリックして選択することができます。
- ② > : サイトリストで選択されたサイトやお気に入りをシーケンスリストに追加します。
- ③ >> : すべてのサイトとお気に入りをシーケンスリストに追加します。
- ④ < : シーケンスリストで選択されたサイトやお気に入りをシーケンスリストから削除します。
- ⑤ << : すべてのサイトとお気に入りをシーケンスリストから削除します。
- ⑥ シーケンスリスト : シーケンスする順にサイトやお気に入りを表示します。クリックして選択することができます。
- ⑦ ▲ : シーケンスリストで選択されたサイトやお気に入りのシーケンス順序を一つ上げます。
- ⑧ ▼ : シーケンスリストで選択されたサイトやお気に入りのシーケンス順序を一つ下げます。
- ⑨ シーケンス期間 : シーケンス表示の切換時間を設定します。
[設定範囲] 5～3600 秒
- ⑩ OK : 設定を保存して設定画面を閉じます。
- ⑪ キャンセル : 設定を保存しないで設定画面を閉じます。

ご注意

サイト設定でオートログインを有効にしていないサイトは、シーケンスリストに登録してもシーケンス表示されません。シーケンス表示するサイトとお気に入りは必ずオートログインを有効にしてください。
(P. 16 「サイトの登録」)

● ライブ音声を聞く

DRNET ライブでは、選択したカメラチャンネルのライブ音声を聞くことができます。

ご注意

- デジタルレコーダー設定メニューの「デバイス → 音声」の音声が「ON」に設定されているチャンネルのみライブ音声を聞くことができます。「OFF」に設定されているチャンネルのライブ音声を聞くことはできません。
- 分割画面でライブ音声を聞くと音が途切れることがあります。

1

ライブ音声を聞きたいカメラチャンネルをクリックする。

クリックしたカメラチャンネルがオレンジ色の枠で選択され、ライブ音声を出力します。

2

「音量調整ボタン」をクリックし、音量スライダーを調節する。

音量を調節できます。



メ モ



マークをクリックするとミュート（）になり、音声を出力しません。

● 音声を送信する

音声送信ボタンをクリックすると DRNET ライブで接続中のデジタルレコーダーに PC からの音声を送信することができます。

音声送信中は、音声送信ボタンがオレンジ色に点灯します。再度、音声送信ボタンをクリックすると、音声送信を終了することができます。

ご注意

- 接続中のデジタルレコーダーが再生モードのときには音声を送信できません。音声送信を行うと、警告ウィンドウが表示されます。
- 音声送信を行うと、デジタルレコーダーでは、ライブ音声は停止し、DRNET からの音声が出力されます。
- 複数の DRNET から音声を送信することはできません。
- 音声送信は音声送信権限のあるユーザーのみ可能です。

1 PC のマイク入力端子にマイクを接続する。

DRNET 起動前にマイクを接続してください。

2 DRNET を起動する。

3 サイトに接続する。

サイトへの接続方法は、P. 22 「サイトの接続」を参照してください。

4 送信するサイトのカメラチャンネルをクリックする。

「お気に入り」接続の場合は、接続先サイトのカメラチャンネルを選択してください。オレンジ色の枠の付いたカメラチャンネルがあるサイトに音声を送ります。

5 「音声送信ボタン」をクリックする。

DRNET ライブのビューパネルに以下のように表示されます。

PC に接続しているマイクを使って、デジタルレコーダーに音声を送信することができます。



✕ モ DRNET ライブからの音声送信をデジタルレコーダーで録音することはできません。

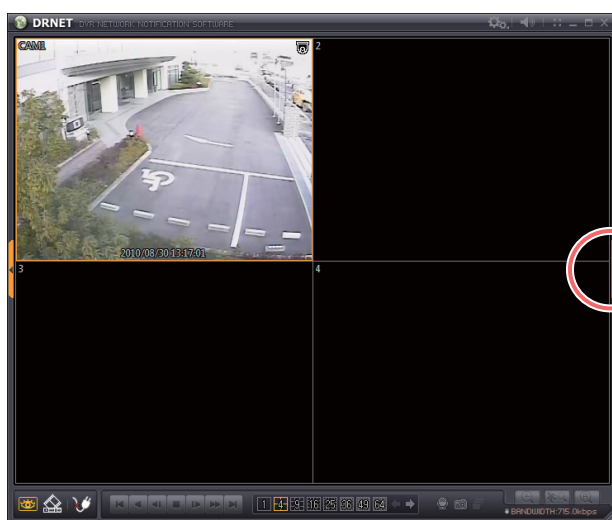
■ デジタルレコーダーの状態を監視する

DRNET ライブでは、デジタルレコーダーのセンサー入力、モーション検知、ビデオロス、アラーム状態を監視することができます。

ご注意

デジタルレコーダーのセンサー入力、モーション検知、ビデオロス、アラーム状態が1秒未満の場合、DRNETでは検知できないことがあります。

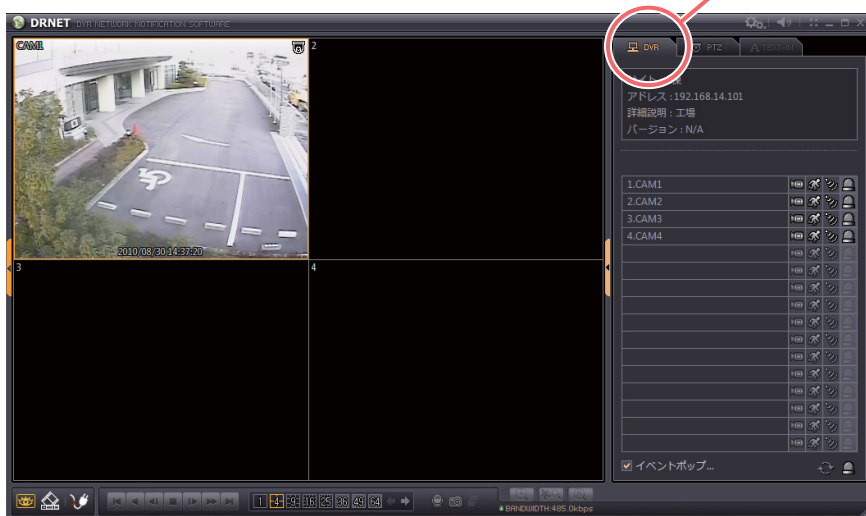
- 1 画面右にある「ツールパネルボタン」をクリックする。
ツールパネルが表示されます。



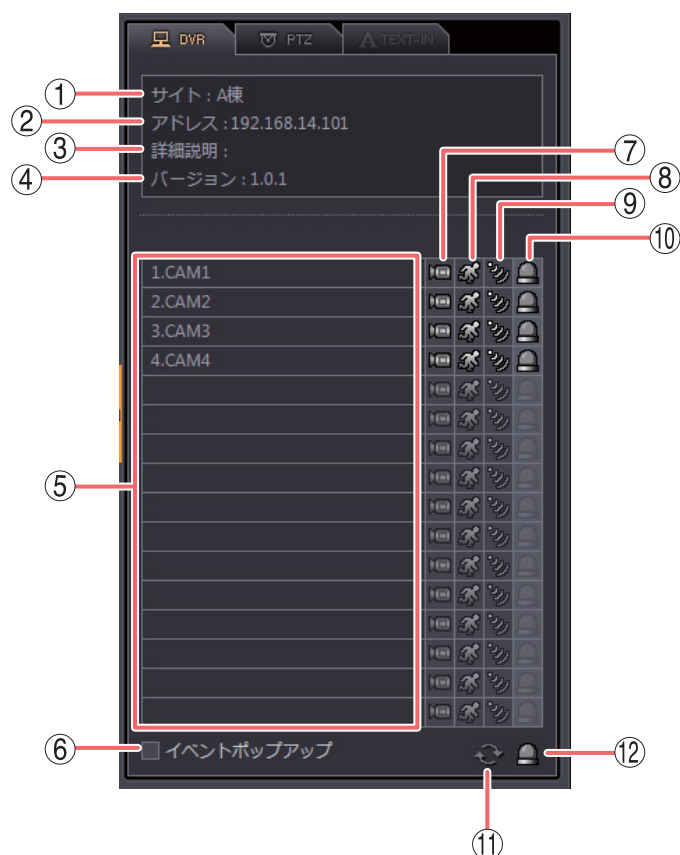
[ツールパネルボタン] をクリック

- 2 「DVR」タブをクリックする。
DVR ツールパネルが表示されます。

[DVR] タブをクリック



- 3 状態を監視するデジタルレコーダーのビューパネルをクリックする。
ビューパネルにオレンジ色の枠が付き、「DVR」タブに選択したデジタルレコーダーの状態を表示します。

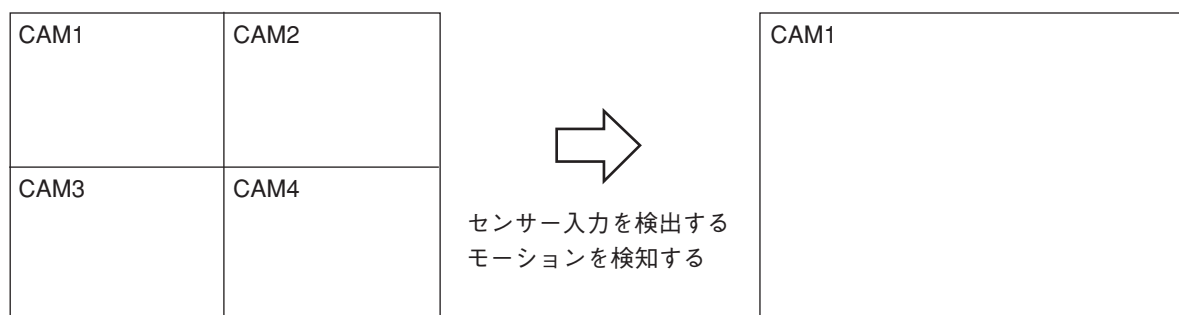


- | | |
|--|--|
| ① サイト | : サイト名を表示します。 |
| ② アドレス | : サイトのアドレスを表示します。 |
| ③ 詳細説明 | : サイトの詳細説明を表示します。 |
| ④ バージョン | : デジタルレコーダーのソフトウェアのバージョンが表示されます。 |
| ⑤ カメラ | : デジタルレコーダーのカメラ番号とカメラ名を表示します。 |
| ⑥ イベントポップアップ | : チェックを入れると、センサー入力を検出したセンサー番号のカメラとモーション検知したカメラをDRNETライブ画面で1画面表示します。イベントポップアップ時間が経過すると元の分割画面に戻ります。(P. 75 「システム」) |
| ⑦ ビデオロス | : ビデオロスが発生しているカメラチャンネルを表示  します。 |
| ⑧ モーション | : モーション検知があると青色に点灯表示  します。 |
| ⑨ センサー | : センサー入力があるとオレンジ色に点灯表示  します。表示位置は、カメラチャンネル番号ではなくセンサー入力番号になります。 |
| ⑩ コントロール出力 | : コントロール出力番号の順にデジタルレコーダーがコントロール出力を出力していると赤色に点灯表示  します。
コントロール出力を出力していないときにアイコンをクリックするとデジタルレコーダーのコントロール出力を出力します。
コントロール出力を出力しているときにアイコンをクリックするとデジタルレコーダーのコントロール出力を停止します。
ご注意 コントロール出力の表示、停止はリモートアラーム権限があるユーザーのみ可能です。 |
| ⑪ 更新 () | : 情報を最新状態に更新します。 |
| ⑫ アラーム解除 () | : クリックするとデジタルレコーダーのすべてのコントロール出力を停止します。また、ビデオロス、ファン異常などによるアラーム状態を解除します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">メ モ</div> HD-SDI レコーダーは、アラーム状態は解除されません。 |

● イベントポップアップ表示

イベントポップアップが有効のとき、センサー入力を検出したセンサー番号のカメラとモーション検知したカメラを1画面で表示します。設定方法は、P. 36「デジタルレコーダーの状態を監視する」を参照してください。

1画面はイベントポップアップ時間が経過した後、元の分割画面に戻ります。設定方法は、P. 75「システム」を参照してください。



ご注意

- ビデオロスを検出しても1画面になりません。
- 複数のカメラでモーションを検知した場合、新しく検知したカメラを1画面で表示します。
- デジタルレコーダーのイベントポップアップ設定とは関係ありません。
- お気に入りで接続している場合は使用しないでください。
- シーケンス中は、シーケンスが切り換わるとイベントポップアップを終了します。

■ コンビネーションカメラを操作する

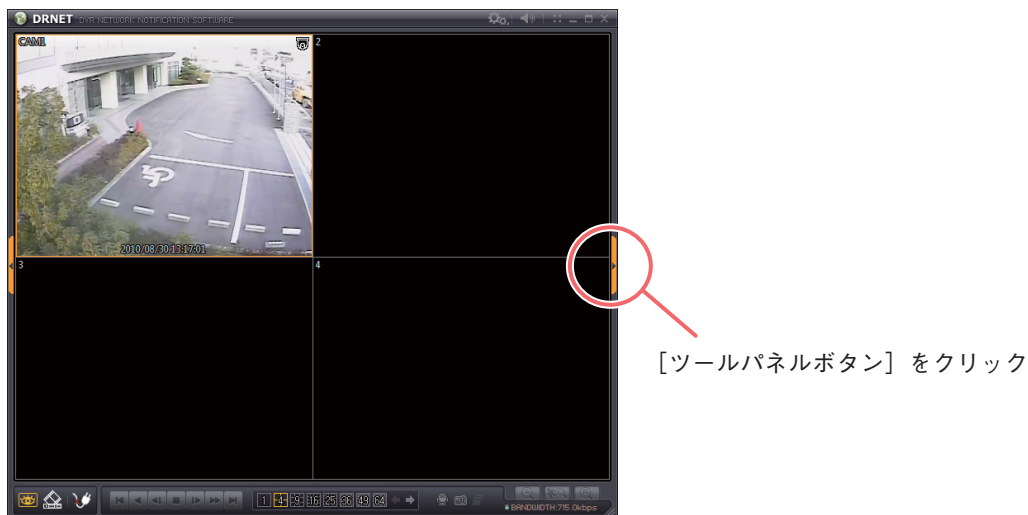
DRNET ライブでは、デジタルレコーダーに接続されたコンビネーションカメラを操作できます。操作可能なコンビネーションカメラと設定は、P. 7「操作できる機器について」を参照してください。

ご注意

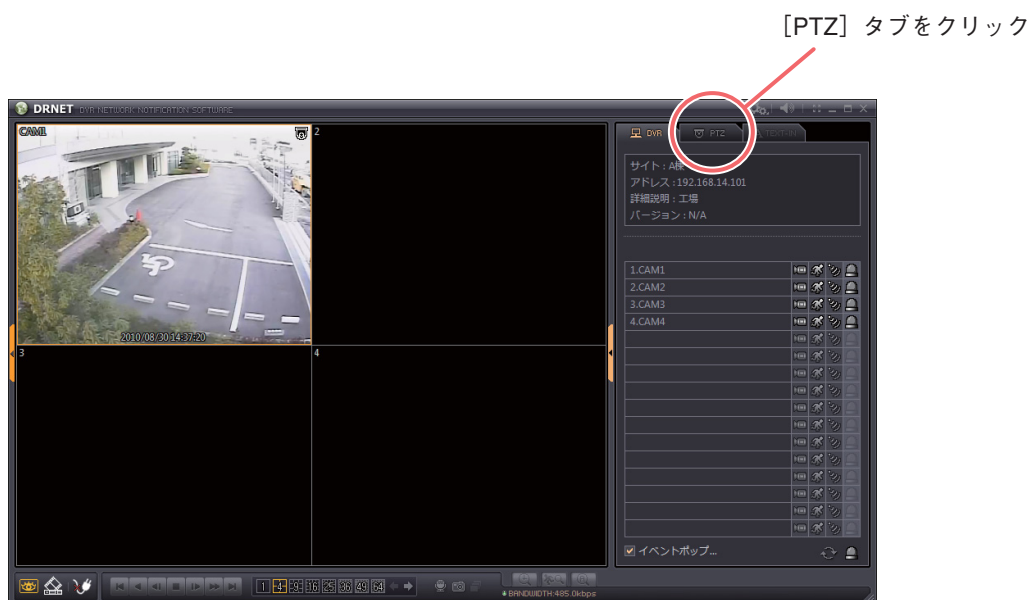
- コンビネーションカメラの操作はリモートPTZ権限を持つユーザーのみ可能です。
- ビューパネルのカメラアイコンが  を表示しているカメラチャンネルのみ操作可能です。  の表示がないカメラチャンネルは操作できません。デジタルレコーダーのコンビネーションカメラ設定を行ってください。
- DRNET ライブでのコンビネーションカメラ操作は、デジタルレコーダーに登録されたネットワークPTZ権限を持つユーザーのみ可能です。デジタルレコーダーに登録されていないユーザーでは操作できません。このとき、カメラプロトコルが有効であっても  を表示しません。
- H-R021-1 はコンビネーションカメラの制御に対応していません。
- HD-SDI レコーダー H-R041-2、デジタルレコーダー C-DR044、C-DR084、C-DR164、C-DV044、C-DV084、C-DV164 シリーズは、オートパン動作、パターン動作（プリセットシーケンス）、ツアー動作の操作はできません。マニュアル操作やプリセット登録、プリセット移動の操作は可能です。

- 1**  を表示しているカメラチャンネルをクリックする。
クリックしたカメラチャンネルがオレンジ色の枠で選択されます。
- メ モ** コンビネーションカメラは、分割画面でも操作できます。

- 2** 画面右にある「ツールパネルボタン」をクリックする。
ツールパネルが表示されます。

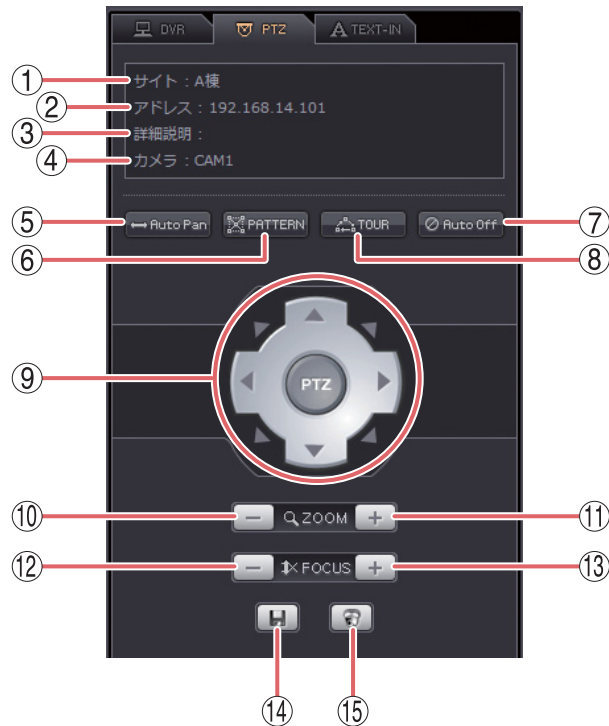


- 3** 「PTZ」タブをクリックする。
「コンビネーション操作パネル」が表示されます。



- 4** コンビネーションカメラ操作パネル内のボタンをクリックする。
ボタンをクリックするとコンビネーションカメラの操作ができます。(P. 40「コンビネーションカメラ操作パネル」)

[コンビネーションカメラ操作パネル]



- | | |
|---|---|
| ① サイト | : サイト名を表示します。 |
| ② アドレス | : サイトのアドレスを表示します。 |
| ③ 詳細説明 | : サイトの詳細説明を表示します。 |
| ④ カメラ | : デジタルレコーダーのカメラ名を表示します。 |
| ⑤ Auto Pan  | : オートパン動作を開始します。 |
| ⑥ PATTERN  | : あらかじめコンビネーションカメラに登録されたプリセットポジションを巡回するパターン動作（プリセットシーケンス）を開始します。 |
| ご注意 | |
| パターン動作（プリセットシーケンス）に対応していないコンビネーションカメラは動作しません。 | |
| ⑦ TOUR  | : あらかじめコンビネーションカメラに設定されたツアー動作を開始します。 |
| ⑧ Auto Off  | : オート動作（オートパン、パターン、またはツアー）を停止します。 |
| ⑨ 方向指示ボタン | : カメラのマニュアル操作に使用します。クリックしたボタンの方向に応じてカメラが動きます。
カメラの旋回速度は、デジタルレコーダー設定メニューの「デバイス → カメラ → PTZ タブ」のスピードで変更できます。 |
| ⑩ ZOOM  | : クリックするとズーム操作（広角）を行います。 |
| ⑪ ZOOM  | : クリックするとズーム操作（望遠）を行います。 |
| ⑫ FOCUS  | : クリックすると焦点を近くに合わせます。 |
| ⑬ FOCUS  | : クリックすると焦点を遠くに合わせます。 |
| ⑭ プリセット設定  | : プリセットポジションの登録を行います。（P. 41「プリセット登録の操作」）
  ポジションの登録は、1～16まで可能です。 |
| ⑮ プリセット移動  | : あらかじめコンビネーションカメラに登録されたプリセットポジションに移動します。（P. 41「プリセット移動の操作」） |
|   ズーム、フォーカスのレンズ速度は固定です。 | |

● プリセット登録の操作

あらかじめコンビネーションカメラの向き、画角を設定し特定のポジション番号に登録することで、ポジション番号を選択すると何度でも同じ向き、画角の映像を簡単に呼び出すことのできる機能を「プリセットポジション」と呼びます。

「プリセットポジション」をコンビネーションカメラへ登録する手順は以下の通りです。

1 パン／チルト、ズーム／フォーカスを使用し、プリセット登録する画角を表示する。

パン／チルトは方向指示ボタンを使用します。

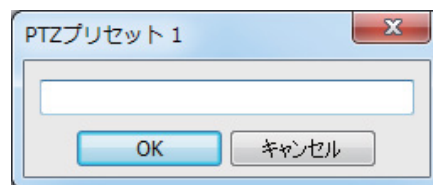
ズーム／フォーカスの調整は 、 を使用します。

2 「プリセット設定」 をクリックする。

1～16の番号が表示されます。

3 プリセット番号に指定したい番号をクリックする。

プリセットポジション名入力ウィンドウが表示されます。



4 プリセットポジション名を入力して、「OK」ボタンを押す。

現在のカメラの向きと画角をプリセットポジションとして登録します。

ご注意

プリセットポジション名にはデジタルレコーダーで入力可能な文字を使用してください。16文字まで入力できます。

入力可能文字：半角英数文字と以下の記号

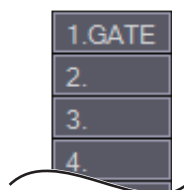
_, |, \, /, , , ? , ! , @ , # , \$, % , ^ , & , * , (,) , - , + , = , < , > , .

● プリセット移動の操作

「プリセットポジション」に移動（呼び出す）する手順は以下の通りです。

1 「プリセット移動」 をクリックする。

1～16の番号と登録されたプリセットポジション名が表示されます。



2 プリセット移動させたい番号（プリセットポジション名）をクリックする。

プリセットポジションの映像が表示されます。

DRNET 再生

■ DRNET 再生に接続する

DRNET 起動時は、DRNET ライブ画面が表示されます。遠隔再生機能を使用するためには、DRNET ライブ画面から DRNET 再生画面に切り換える必要があります。

1 DRNET を起動する。

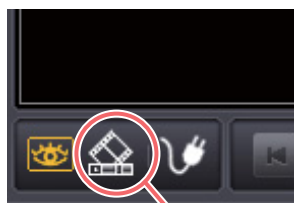
DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



スタートメニューの「すべてのプログラム → DRNET」からも DRNET を起動できます。

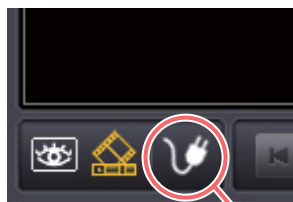
2 DRNET ライブ画面左下の「遠隔再生ボタン」をクリックする。

DRNET 再生画面に切り換わります。

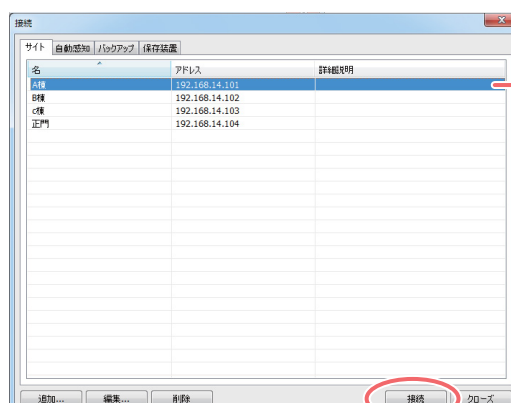


「遠隔再生ボタン」をクリック

3 「接続／切断ボタン」をクリックする。



「接続／切断ボタン」
をクリック



クリックして
選択

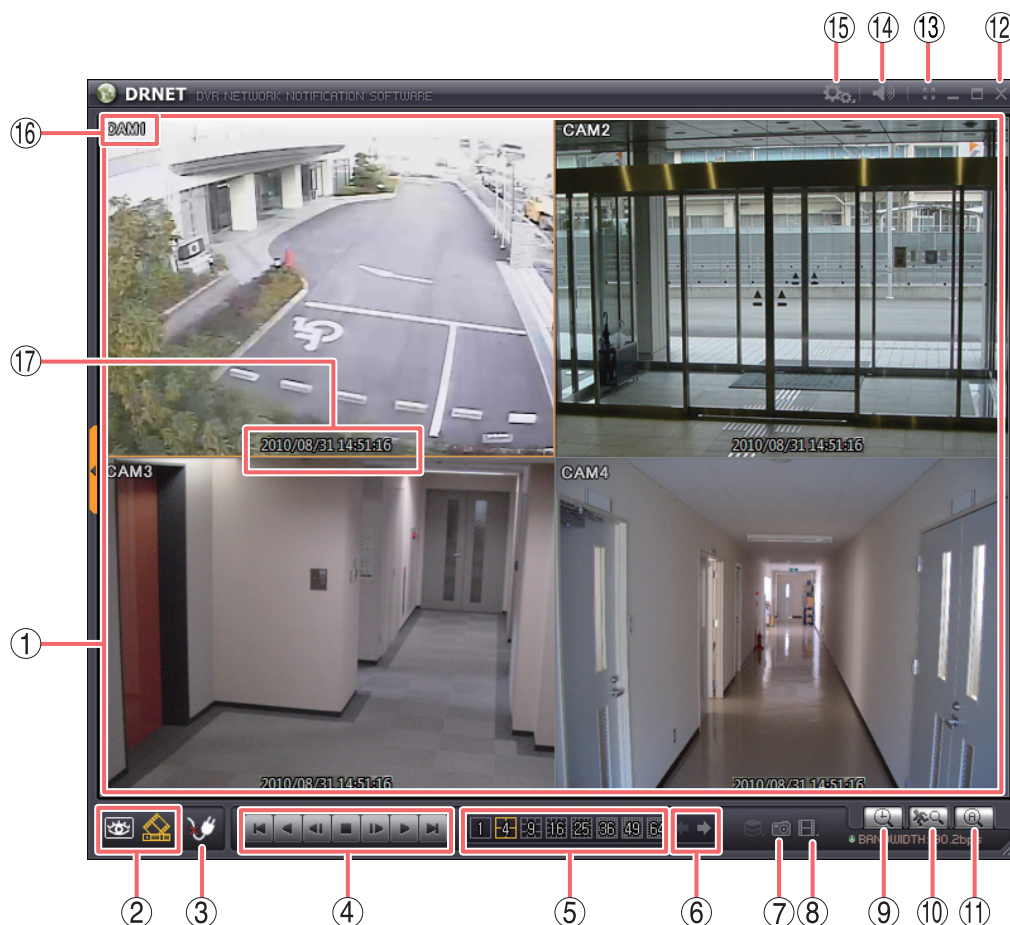
「接続」をクリック

4 「サイト」タブをクリックし、接続するサイトを選択して「接続」をクリックする。

ご注意

DRNET 再生では、DRNET ライブのお気に入り接続（P. 19 「お気に入りへの登録を行う」）のように画面配置を自由に変更できません。先頭からカメラチャンネル順に配置されます。また、再生できるデジタルレコーダーは1台です。複数のデジタルレコーダーを同時に再生することはできません。

■ 画面表示と OSD について



- ① ビューパネル : 再生映像を表示します。選択中のカメラはオレンジ色の枠で表示します。
- ② モード切替ボタン
- 遠隔ライブボタン : DRNET ライブモードに切り換えます。遠隔再生接続中は通信を切断します。
 - 遠隔再生ボタン : 遠隔再生ボタンが有効のときオレンジ色に点灯し、DRNET 再生画面であることを表します。
- ③ 接続／切断ボタン : サイトの接続／切断を行います。(P. 16「サイトの接続と切断」)
- ④ 再生操作部 : ビューパネルに表示した映像の再生時に使用します。
- | | | | |
|--|-----------|--|----------|
| | : 最古 | | : コマ送り |
| | : 逆再生、早戻し | | : 再生、早送り |
| | : コマ戻し | | : 最新 |
| | : 停止 | | |
- ⑤ 分割画面選択ボタン : 分割画面を変更できます。1画面、4、9、16、25、36、49、64 分割画面を表示します。(P. 30「分割画面を変更する」)
- ⑥ ページ切替ボタン : 選択した分割画面のページ切替を行います。◀ボタンをクリックすると前ページへ、▶ボタンをクリックすると次ページへ切り換えます。
- ⑦ 画面保存ボタン : 表示している画面を静止画として JPEG、BMP、または PNG 形式で保存します。(P. 51「静止画で保存する」)

- ⑧ バックアップボタン : バックアップ形式を選択して動画を保存します。(P. 53「バックアップ機能」)
- MP4形式 : 1つのカメラチャンネルの映像データをMP4形式で保存します。
- バックアップ形式(.srtg) : 複数のカメラチャンネルを選択して、バックアップ形式(独自形式)で保存します。
- バックアップ形式(.exe) : 複数のカメラチャンネルを選択して、バックアップ形式(Backup Media Player形式)で保存します。
- ⑨ カレンダー検索ボタン : カレンダー検索画面を表示します。(P. 45「日時を指定して検索再生する(カレンダー検索)」)
- ⑩ イベント検索ボタン : イベント検索画面を表示します。(P. 48「イベントを指定して検索再生する(イベント検索)」)
- ⑪ テキストイン検索 : 使用できません。
- ⑫ 閉じるボタン : デジタルレコーダーとの通信を切断し、DRNETを終了します。
- ⑬ フルスクリーンボタン : ビューパネルのみを全画面表示します。全画面表示中に画面をクリックすると、全画面表示を解除します。
- ご注意**
全画面表示中に1画面表示にしたり、分割画面を変更したりすることはできません。全画面表示を解除してから行ってください。
- ⑭ 音量調整ボタン : 音声再生時の音量を調整します。(P. 50「再生音声を聞く」)
- ⑮ 設定ボタン : 接続中のサイトの遠隔設定(P. 70「遠隔設定」)または、DRNETの設定(P. 74「DRNET設定」)を選択します。
- ⑯ カメラ名 : カメラ名称を表示します。
- ⑰ 再生情報表示 : 再生映像の日付と時刻を表示します。表示形式はDRNET設定に従います。

ご注意 カメラ名を非表示にすることはできません。

■ 遠隔再生する

DRNET を使用して録画データを再生するには、カラーバーまたは日時を指定して検索する方法と、イベントを指定して検索する方法があります。

ご注意

- デジタルレコーダーのネットワーク再生権限を持つユーザーのみ DRNET 再生で操作可能です。
- デジタルレコーダー設定メニュー「録画 → 録画設定」の解像度が「D1 (720 × 480)」に設定されている場合、くし状のインターレースノイズを自動的に除去して表示します。ただし、自動的に判断するため、動きのある映像でノイズが除去されないことがあります。(HD-SDI レコーダーは、解像度が「D1 (720 × 480)」の設定はありません。)
- HD-SDI レコーダーは、デジタルレコーダー設定メニュー「デバイス → カメラ → マスク設定」でマスク設定のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像は表示されません。(デジタルレコーダーに登録されたマスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザーは、マスク設定のモードに関係なく映像が表示されます。)

● 日時を指定して検索再生する (カレンダー検索)

1 「接続／切断ボタン」からデジタルレコーダーに接続する。

デジタルレコーダーへの接続手順は P. 22 「サイトの接続」を参照してください。

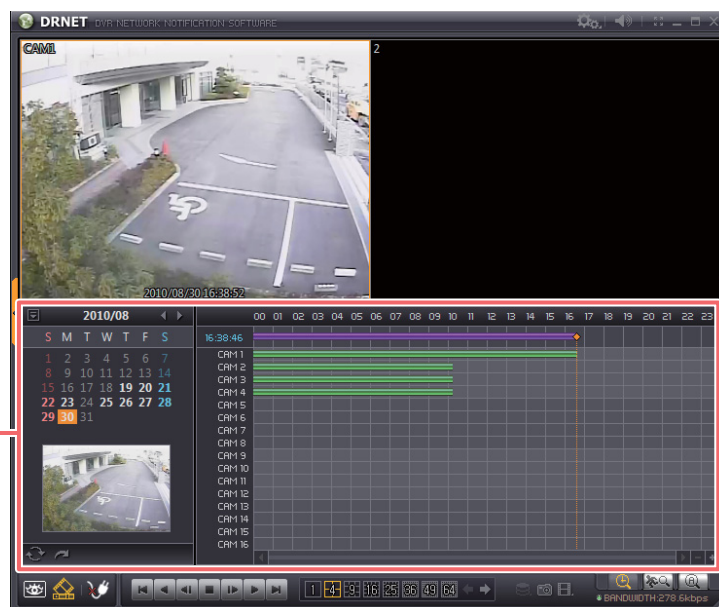
ご注意

1 つの DRNET から再生できるデジタルレコーダーは 1 台です。複数のデジタルレコーダーを同時に再生することはできません。

2 「カレンダー検索ボタン」をクリックする。

カレンダー検索画面が表示されます。録画データの存在する日付は、数字が強調表示されます。(P. 47 「カレンダー検索画面」)

カレンダー
検索画面



3 検索する日付を指定する。

再生したい日付をクリックすると、日付がオレンジ色白抜きで表示され、タイムテーブル上に選択した日付の状態を表示します。

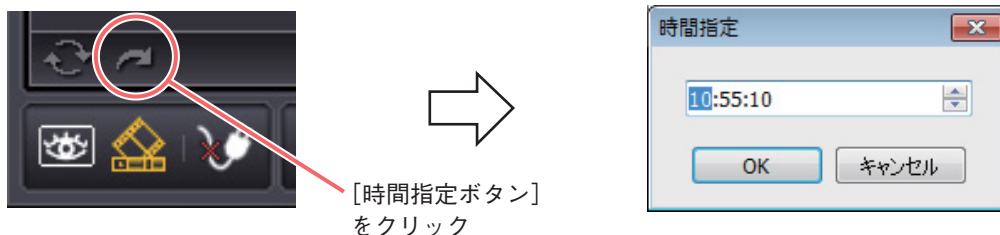
再生したい日付の月が異なる場合、「◀」または「▶」をクリックして、再生したい月まで移動してください。

4 検索する時刻を指定する。

時刻の指定またはカラーバーを使用することができます。

[時刻を指定して再生する場合]

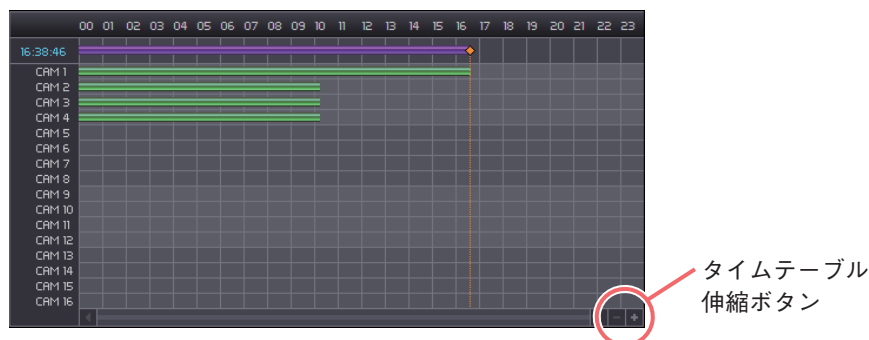
時間指定ボタンをクリックすると、時間指定画面が表示されます。



時刻を指定するために、時、分、秒の各項目をクリックして選択し、右の上下ボタンをクリックして数値を増減してください。入力完了後、「OK」をクリックするとタイムテーブルの時刻カーソルが指定時刻に移動します。

[カラーバーを使用して再生する場合]

カレンダーから再生する日を選択した後で、カラーバーの色のついた時刻をクリックすると、再生時刻を指定することができます。



タイムテーブル伸縮ボタンでタイムテーブルを拡大／縮小できます。

5 再生操作を行う。

ビューパネルに再生映像が表示されます。再生操作部から再生、逆再生などの操作を行ってください。

ご注意

- PC の性能により、再生映像の描画更新速度が異なります。
- 00:00:00 を越して翌日または前日が続けて再生できません。翌日または前日を検索し直してから再生してください。
- 逆再生、早戻し、早送りでは、フレームを飛ばしながら再生します。すべてのフレームを再生していません。
- 録画レートが高い映像を再生すると、スピードを変更しても一定速度以上、再生速度が速くならない場合があります。

[同一時刻に録画データが重なっている場合]

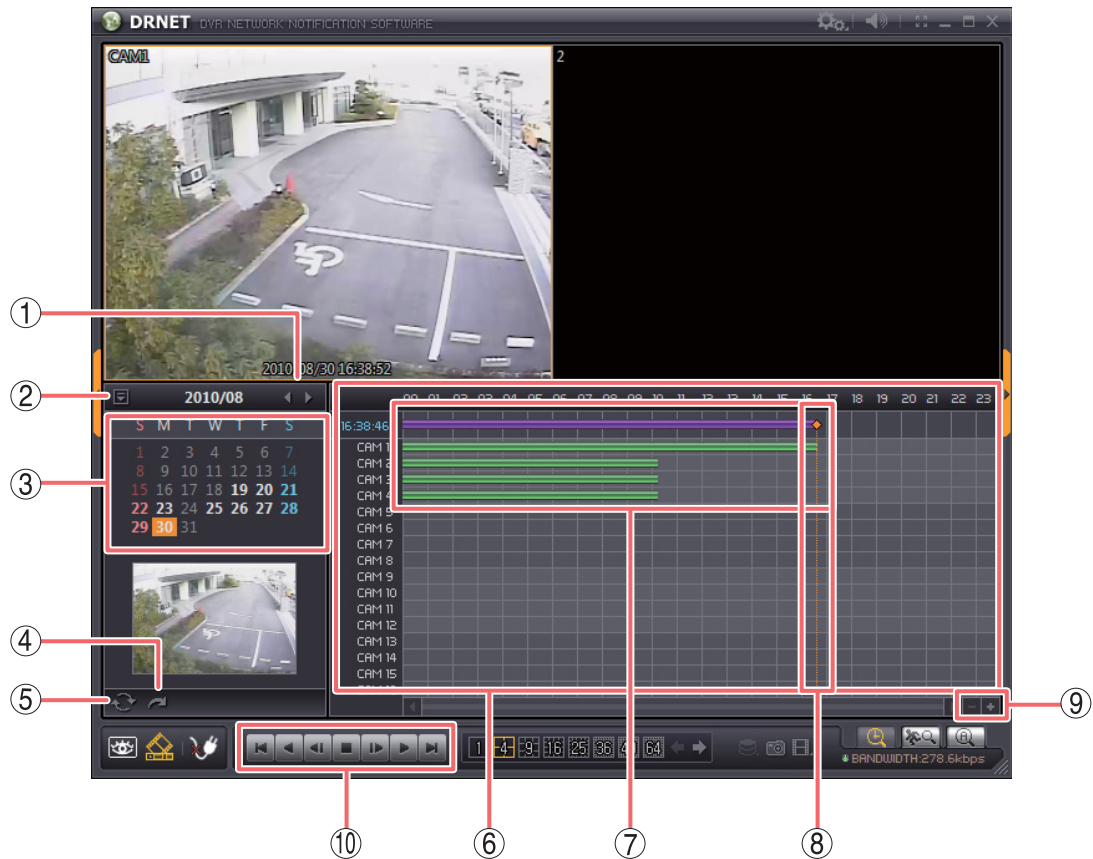
時刻調整や NTP 調時、接点調時によってデジタルレコーダーの時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重なることがあります。カラーバーは黄色で表示されます。

この時刻を選択し、再生すると再生選択画面が現れます。



「1」を選択すると、時刻が重なる前の録画データから再生を開始します。再生後に重なった後の録画データを続けて再生します。「2」を選択すると、重なった後の録画データから再生を開始します。

[カレンダー検索画面]



- ① ◀、▶ : 前月または翌月を表示します。
- ② 検索終了 : カレンダー検索画面を閉じて、再生画面を表示します。
- ③ カレンダー表示部 : 録画の存在する日付を白字で強調表示します。タイムテーブルに表示している日付の背景をオレンジ色で表示します。
- ④ 時間指定ボタン : 時間指定画面を開きます。
- ⑤ 更新ボタン : カレンダー表示を最新の状態に更新します。
- ⑥ タイムテーブル : 録画データが存在する時刻を表示します。タイムテーブル伸縮ボタンを使うと時間間隔を拡大／縮小できます。
- ⑦ カラーバー : 録画データが存在する時間を表示します。
 (紫色) : いずれかのカメラチャンネルに録画データが存在する。
 (緑色) : カメラチャンネルに録画データが存在する。
 (黄色) : 同一時刻に重複した録画データが存在する。(P. 46「同一時刻に録画データが重なっている場合」)
- ⑧ 時刻カーソル : 再生中の時刻を表します。タイムテーブルの録画が存在する任意の位置をクリックすると時刻カーソルは移動し、再生開始位置を指定できます。
- ⑨ タイムテーブル伸縮ボタン +、- : タイムテーブルの時間軸を拡大／縮小します。
- ⑩ 再生操作部 : ビューパネルに表示した映像の再生時に使用します。

: 最古
 : 逆再生、早戻し
 : コマ戻し
 : 停止
 : コマ送り
 : 再生、早送り
 : 最新

メ モ

- 再生速度を変更する場合は、逆再生、または再生ボタンをクリックしてください。逆再生、または再生ボタンを続けてクリックした回数に応じて、速度が2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 通常速度と変化します。
- 最古、最新ボタンは、表示中の1日の中での最古、最新時刻に移動します。

● イベントを指定して検索再生する（イベント検索）

デジタルレコーダーで発生したイベントの時刻から再生を開始することができます。

ご注意

- バックアップデータはイベント検索できません。
- 1つのDRNETから再生できるデジタルレコーダーは1台です。複数のデジタルレコーダーを同時に再生することはできません。

1

「接続／切断ボタン」からデジタルレコーダーに接続する。

デジタルレコーダーへの接続手順はP. 16「サイトの接続と切断」を参照してください。

2

「イベント検索ボタン」をクリックする。

イベント検索画面が表示されます。（P. 49「イベント検索画面」）

3

検索する日付を選択する。

イベント検索ウィンドウの日付から、検索する日付を選択します。イベントが存在する日付が選択可能になります。

検索は1日単位で行います。

4

検索するイベントタイプを選択する。

検索するイベントタイプにチェックを入れます。複数のイベントを選択できます。

5

検索するカメラチャンネルを選択する。

検索するカメラチャンネルを選択します。すべてのカメラを選択する場合は「全部」にチェックを入れてください。

6

「SEARCHボタン」をクリックする。

選択した条件で検索を実行します。イベントリストに検索結果を表示します。

7

イベントリストから再生したいイベントをクリックする。

選択したイベントがビューパネルに表示されます。

8

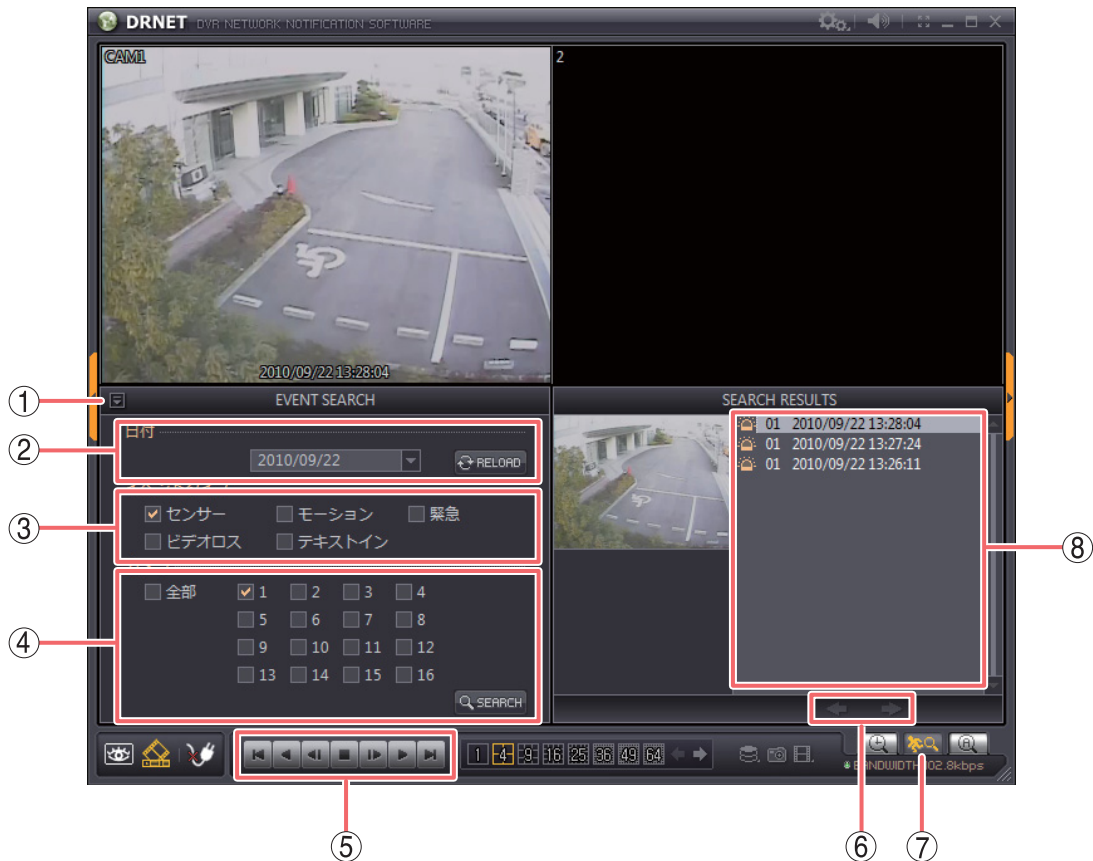
再生操作を行う。

ビューパネルに再生映像が表示されます。再生操作部から再生、逆再生などの操作を行ってください。

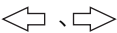
ご注意

- PCの性能により、再生映像の描画更新速度が異なります。
- 逆再生、早戻し、早送りでは、フレームを飛ばしながら再生します。すべてのフレームを再生していません。
- 録画レートが高い映像を再生すると、スピードを変更しても一定速度以上、再生速度が速くならない場合があります。

[イベント検索画面]



- ① 検索終了 : イベント検索画面を閉じて、再生画面を表示します。
- ② 日付 : クリックするとイベント発生日の選択肢が表示されます。検索したい日付を選択してください。
- RELOAD ボタン : 状態を更新します。
- ③ イベントタイプ : 検索したいイベントタイプにチェックを入れて選択します。
- センサー : センサー録画
 - モーション : モーション録画
 - 緊急 : 緊急録画
 - ビデオロス : ビデオロス録画
 - テキストイン : 使用できません
- ④ カメラ : 検索したいカメラにチェックを入れて選択します。「全部」チェックボックスですべてのカメラを一斉に選択／解除できます。
- SEARCH ボタン : 検索を実行します。
- ⑤ 再生操作部 : ビューパネルに表示した映像の再生時に使用します。
- | | |
|-------------|------------|
| ⏮ : 最古 | ⏭ : コマ送り |
| ⏪ : 逆再生、早戻し | ⏩ : 再生、早送り |
| ⏮ : コマ戻し | ⏭ : 最新 |
| ⏹ : 停止 | |
- メモ
- 再生速度を変更する場合は、逆再生、または再生ボタンをクリックしてください。逆再生、または再生ボタンを続けてクリックした回数に応じて、速度が2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 通常速度と変化します。
 - 最古、最新ボタンは、録画データの中で最古、最新時刻に移動します。

- ⑥  : 検索結果が100件を超えた場合、前または次のページを表示します。
- ⑦ イベント検索ボタン : イベント検索画面を表示します。
- ⑧ イベントリスト : 検索結果を表示します。イベントの種類、チャンネル番号、日付、時刻を表示します。
-  : センサー録画です。チャンネル番号は入力があったセンサー番号です。
-  : モーション録画です。チャンネル番号はモーションを検知したカメラ番号です。
-  : ビデオロス録画です。チャンネル番号はビデオロスを検知したカメラ番号です。
-  : 緊急録画です。チャンネル番号は常に01を表示します。

● 再生音声を聞く

DRNET 再生では、選択したカメラチャンネルの再生音声を聞くことができます。

ご注意 分割画面で再生音声を聞くと音が途切れることがあります。

- 1 再生音声を聞きたいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、ビューパネルの画面をクリックする。
クリックしたカメラチャンネルがオレンジ色の枠で選択され、再生音声を出力します。

- 2 再生する。

ご注意 逆再生中や早送り、早戻し中には音声を出力しません。

- 3 「音量調整ボタン」をクリックし、音量スライダーを調節する。
音量を調節できます。



☐ ☐  マークをクリックするとミュート () になり、音声を出力しません。

● 静止画で保存する

表示している画面を静止画として、JPEG、BMP、またはPNG形式で保存できます。

メ モ 静止画保存は、DRNETライブで配信中のライブ映像に対しても行えます。

ご注意

- 保存先にUSBメモリーを使用する場合は、FAT32でフォーマットされたものを使用してください。
- USBメモリーは2GB以上を使用してください。
- 保存中はUSBメモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 静止画保存したい時刻で再生を一時停止する。

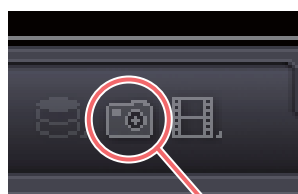
2 画面保存ボタンをクリックする。
静止画保存画面を表示します。

3 「保存」をクリックする。
画面保存設定画面を表示します。(P. 52「画面保存設定画面」)

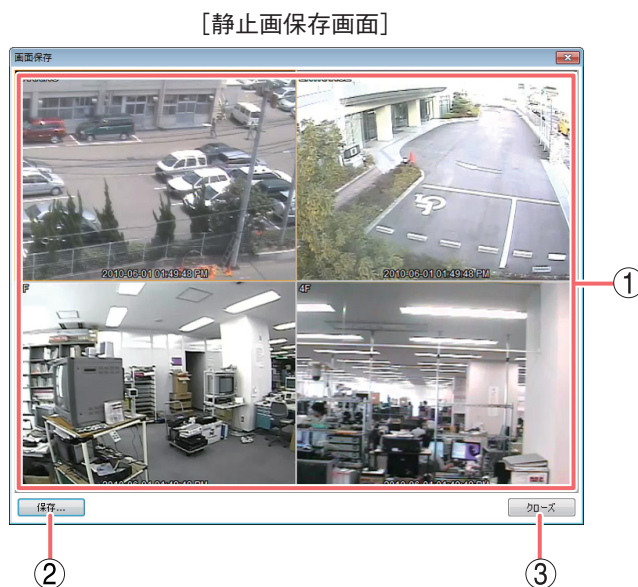
4 画面保存設定画面を設定する。

5 「保存」をクリックする。

メ モ 分割画面で画面保存ボタンをクリックした場合は、分割画面を1枚の画像として保存します。

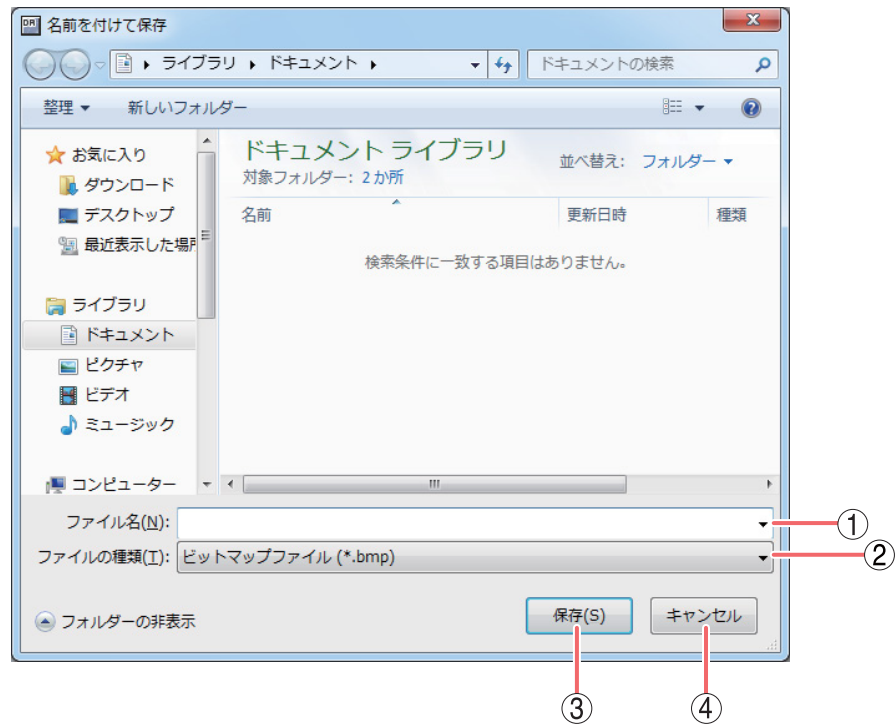


「画面保存ボタン」
をクリック



- ① 静止画面 : 保存する静止画を表示します。
- ② 保存 : 画面保存設定画面を表示します。
- ③ クローズ : 静止画を保存しないで前画面に戻ります。

[画面保存設定画面]



- ① ファイル名 : ファイル名を指定します。
- ② ファイルの種類 : ファイル形式を JPEG、BMP、PNG から選択します。
- ③ 保存 : 指定した場所に、指定した名前の画像ファイルが保存されます。
- ④ キャンセル : 保存しないで前画面に戻ります。

保存したファイルを開くと、静止画保存画面に表示された静止画面の情報が表示されます。



- ① カメラ名 : バックアップ元のデジタルレコーダーで設定したカメラ名を表示します。
- ② フレーム情報 : 静止画の日付と時刻を表示します。

バックアップ機能

接続しているデジタルレコーダーの録画データを PC に保存することができます。保存先を指定してバックアップ操作を行ってください。

以下のデータ保存形式から選択できます。

データ形式	バックアップデータ			再生方法	参照ページ
	映像	音声	カメラ台数		
独自形式	○	○	複数台	DRNET がインストールされている PC で再生できます。	P. 54
Backup Media Player 形式	○	○	複数台	PC で再生できます。 (再生用ソフトウェアは必要ありません)	P. 54
MP4 形式 *1	○	×	1 台	PC で再生できます。 再生映像にはカメラ名や日時は表示されません。(「QuickTime Player」が必要です)	P. 56
AVI 形式 *2	○	○	1 台	PC で再生できます。 (「Windows Media Player」が必要です)	P. 58

*1 C-DR044 / 084 / 164 シリーズ、C-DV044 / 084 / 164 シリーズに接続しているときに選択できます。

*2 HD-SDI レコーダーに接続しているときに選択できます。

ご注意

- 保存先に USB メモリーを使用する場合は、FAT32 でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- バックアップ中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- バックアップしようとしているデジタルレコーダーの録画データが上書きによって削除されると、バックアップを終了します。

■ 複数のカメラをバックアップする

カメラを複数台選択して、指定した時間の映像データを保存できます。バックアップデータに音声データがあるときは、音声を常に保存します。バックアップによって、PCで簡単に再生できる Backup Media Player 形式（実行ファイル形式）と DRNET で再生できる独自形式のファイルを作成できます。（P. 59「バックアップしたデータを再生する」）

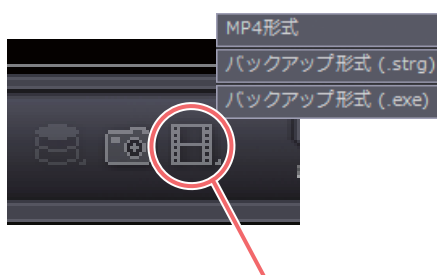
ご注意

- バックアップデータからはイベント検索できません。
- バックアップはバックアップ権限のあるユーザーのみ可能です。
- バックアップしたデータをデジタルレコーダーで再生することはできません。
- Backup Media Player 形式のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えた場合は、ファイルが分割されます。
- 独自形式のバックアップは、保存先が FAT32 でフォーマットされている場合は、ファイルサイズが 4 GB を超えるとバックアップが終了します。

1 DRNET 再生でバックアップするデジタルレコーダーに接続する。

2 「バックアップボタン」をクリックする。

独自形式でバックアップを行う場合は「バックアップ形式 (.strg)」、Backup Media Player 形式でバックアップを行う場合は「バックアップ形式 (.exe)」を選択する。選択すると、バックアップ設定画面を表示します。（P. 55「バックアップ設定画面」）



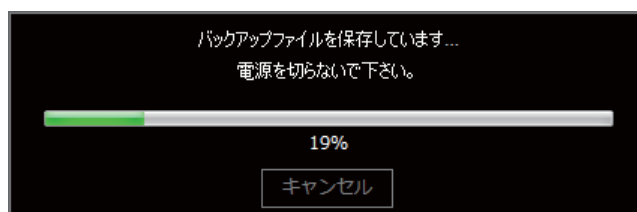
[バックアップボタン] をクリック

3 バックアップ設定画面を設定する。

4 「開始」をクリックする。

バックアップの進捗画面が表示されます。

バックアップを中止するときは「キャンセル」ボタンをクリックします。バックアップが完了すると「キャンセル」ボタンが「クローズ」ボタンに替わります。



ご注意

バックアップ中は DRNET を操作できません。操作を行うには「キャンセル」ボタンをクリックして、バックアップを中止してください。

5 「クローズ」をクリックする。

DRNET 再生画面が表示されます。

[バックアップ設定画面]



- ① ファイル : 保存先とファイル名を表示します。右の  ボタンで保存先とファイル名を指定してください。
- ② 開始 : 保存する録画データの開始位置を指定します。バックアップ設定画面を表示したときの時刻カーソルの位置を表示しています。
- ③ 終了 : 保存する録画データの終了位置を指定します。バックアップ設定画面を表示したときの時刻カーソルの位置を表示しています。
- ④ カメラ : 保存するカメラを選択します。複数チャンネルを選択できます。
- ⑤ 認証 : チェックを入れると、バックアップしたデータを再生するときにパスワードが必要になります。
- ⑥ パスワード : 認証に使用するパスワードを設定します。表示された入力欄（2カ所）にパスワードを入力してください。
- ⑦ バックアップしているデータを再生する : チェックを入れると、保存動作と同時に DRNET で保存データを再生します。

メモ

 このときの再生速度は、PC の性能やネットワーク環境によって異なります。
- ⑧ 開始 : 保存を開始します。
- ⑨ クローズ : 保存しないで前画面に戻ります。

■ MP4形式でバックアップする

C-DR044／084／164シリーズ、C-DV044／084／164シリーズに接続しているときにMP4形式でバックアップできます。1つのカメラチャンネルを選択して、指定した時間の映像データを保存できます。保存したファイルは、MP4形式で作成され、QuickTime Playerで再生できます。

ご注意

- 音声データはバックアップされません。
- バックアップはバックアップ権限のあるユーザーのみ可能です。
- 保存先がFAT32でフォーマットされている場合は、ファイルサイズが2 GBを超えるとバックアップが終了します。

1 DRNET再生でバックアップするデジタルレコーダーに接続する。

2 「バックアップボタン」をクリックする。
「MP4形式」を選択し、MP4形式設定画面を表示します。(P. 57「MP4形式設定画面」)



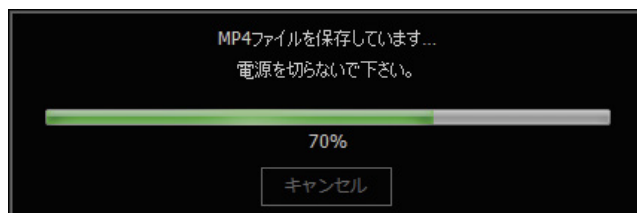
[バックアップボタン] をクリック

3 MP4形式設定画面を設定する。

4 「開始」をクリックする。

バックアップの進捗画面が表示されます。

バックアップを中止するときは「キャンセル」ボタンをクリックします。バックアップが完了すると「キャンセル」ボタンが「クローズ」ボタンに替わります。



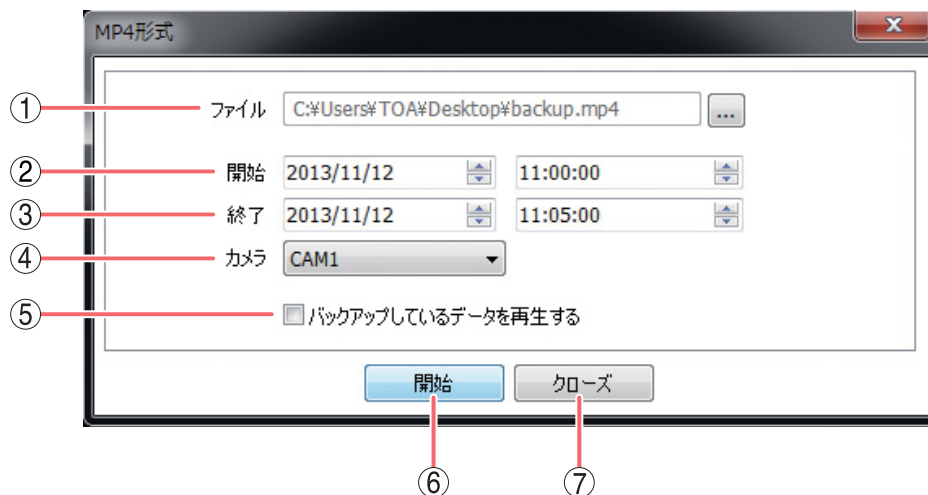
ご注意

バックアップ中はDRNETを操作できません。操作を行うには「キャンセル」ボタンをクリックして、バックアップを中止してください。

5 「クローズ」をクリックする。

DRNET再生画面が表示されます。

[MP4 形式設定画面]



- ① ファイル : 保存先とファイル名を表示します。右の  ボタンで保存先とファイル名を指定してください。
- ② 開始 : 保存する録画データの開始位置を指定します。MP4 形式設定画面を表示したときの時刻カーソルの位置を表示しています。
- ③ 終了 : 保存する録画データの終了位置を指定します。MP4 形式設定画面を表示したときの時刻カーソルの位置を表示しています。
- ④ カメラ : 保存するカメラを選択します。1つのカメラチャンネルを選択できます。
- ⑤ バックアップしているデータを再生する : チェックを入れると、保存動作と同時に DRNET で保存データを再生します。
  このときの再生速度は、PC の性能やネットワーク環境によって異なります。
- ⑥ 開始 : 保存を開始します。
- ⑦ クローズ : 保存しないで前画面に戻ります。

■ AVI形式でバックアップする

HD-SDIレコーダーに接続しているときにAVI形式でバックアップできます。

1つのカメラチャンネルを選択して、指定した時間の映像データを保存できます。バックアップデータに音声データがあるときは、常に音声を保存します。

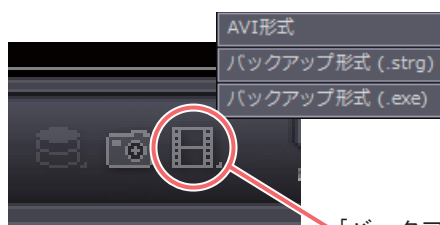
保存したファイルは、AVI形式で作成され、Windows Media Playerで再生できます。

ご注意

- バックアップはバックアップ権限のあるユーザーのみ可能です。
- バックアップデータのファイルサイズが4 GBを超えた場合は、ファイルが分割されます。

1 DRNET再生でバックアップするデジタルレコーダーに接続する。

2 「バックアップボタン」をクリックする。
「AVI形式」を選択し、AVI形式設定画面を表示します。



[バックアップボタン] をクリック

メ モ

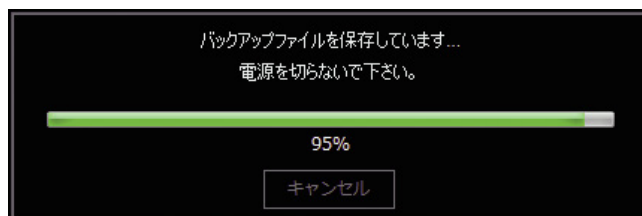
MP4形式設定画面と同様の画面が表示され、同じように操作できます。(P. 57 「MP4形式設定画面」)

3 AVI形式設定画面を設定する。

4 「開始」をクリックする。

バックアップの進捗画面が表示されます。

バックアップを中止するときは「キャンセル」ボタンをクリックします。バックアップが完了すると「キャンセル」ボタンが「クローズ」ボタンに替わります。



ご注意

バックアップ中はDRNETを操作できません。操作を行うには「キャンセル」ボタンをクリックして、バックアップを中止してください。

5 「クローズ」をクリックする。
DRNET再生画面が表示されます。

■ バックアップしたデータを再生する

バックアップしたデータは、PCで再生できます。バックアップの形式には、独自形式、Backup Media Player形式（実行ファイル形式）、MP4形式またはAVI形式があります。

● 独自形式

独自形式で保存された映像データと音声データは、DRNET再生と同様に再生できます。

[独自形式のファイル]

（例）backup.strg

ご注意 バックアップデータからはイベント検索できません。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

1 DRNETライブ画面左下の「遠隔再生ボタン」をクリックする。



[遠隔再生ボタン]
をクリック

2 「接続／切断ボタン」をクリックする。

接続画面を表示します。

3 「バックアップ」タブをクリックする。

バックアップ接続画面を表示します。（P. 60「接続画面」）

4 「フォルダー検索ボタン」をクリックする。

フォルダー検索画面が表示されます。

5 バックアップファイルの保存先を選択する。

バックアップファイル一覧が表示されます。

6 バックアップファイルを選択する。

7 「接続」をクリックする。

バックアップデータの再生画面が表示されます。

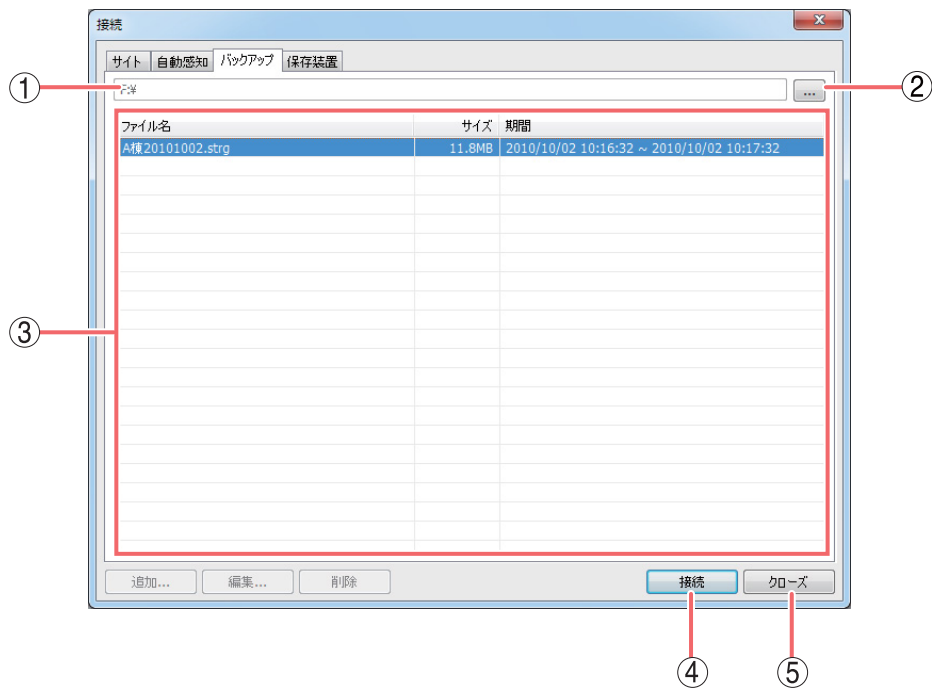
☐ ☐ 認証が必要なバックアップデータを選択したときは、パスワード入力画面が表示されます。

8 再生操作を行う。

☐ ☐

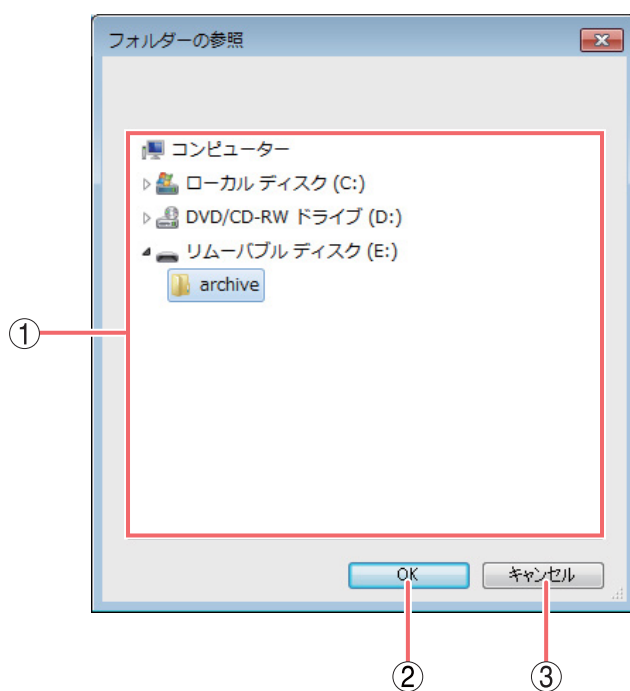
保存したバックアップファイルをダブルクリックすることで、DRNETが起動し再生することもできます。このとき、DRNETは再生操作のみ可能です。

[接続画面]



- ① 保存元 : 保存元ドライブとフォルダーを表示します。
- ② フォルダー検索ボタン : フォルダー検索画面を開き、バックアップデータを保存したドライブとフォルダーを選択します。(P. 61「フォルダー検索画面」)
- ③ バックアップファイル一覧 : 指定したフォルダーに格納されているバックアップファイルを一覧表示します。再生したいファイルをクリックして選択してください。
- ④ 接続 : 選択したファイルの再生画面を表示します。以後は、DRNET再生と同様に操作できます。(P. 43「画面表示とOSDについて」)
- ⑤ クローズ : 再生しないで前画面に戻ります。

[フォルダー検索画面]



- ① ドライブ・フォルダー選択 : ドライブをクリックすると、フォルダーが表示されます。再生したいバックアップファイルが格納されているフォルダーをクリックして選択してください。最上位階層に格納されている場合は、ドライブを選択してください。
- ② OK : 選択したフォルダーを開いて前画面に戻ります。
- ③ キャンセル : フォルダーを開けずに前画面に戻ります。

● Backup Media Player 形式

Backup Media Player 形式で保存された映像データと音声データを PC で再生できます。
Backup Media Player 形式ファイルは、ビューアーを含む実行ファイル形式(exe 形式)で簡単に再生することができます。

[Backup Media Player 形式のファイル]
(例) backup.exe

ご注意

- 再生する PC によっては、再生音声が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。このようなときには別の PC で再生してください。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

1 PC でバックアップファイルの保存先を開く。

2 バックアップファイルを選択し、ダブルクリックする。

Backup Media Player が起動し、画面が表示されます。(P. 63 「Backup Media Player 画面表示」)

☐ **モ** 認証が必要なバックアップデータを選択したときは、パスワード入力画面が表示されます。

3 再生操作を行う。

Backup Media Player 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、選択したカメラチャンネルの再生音声を聞くことができます。

3-1 再生音声を聞きたいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、ビューパネルの画面をクリックする。

クリックしたカメラチャンネルがオレンジ色の枠で選択され、再生音声を出力します。

3-2 再生する。

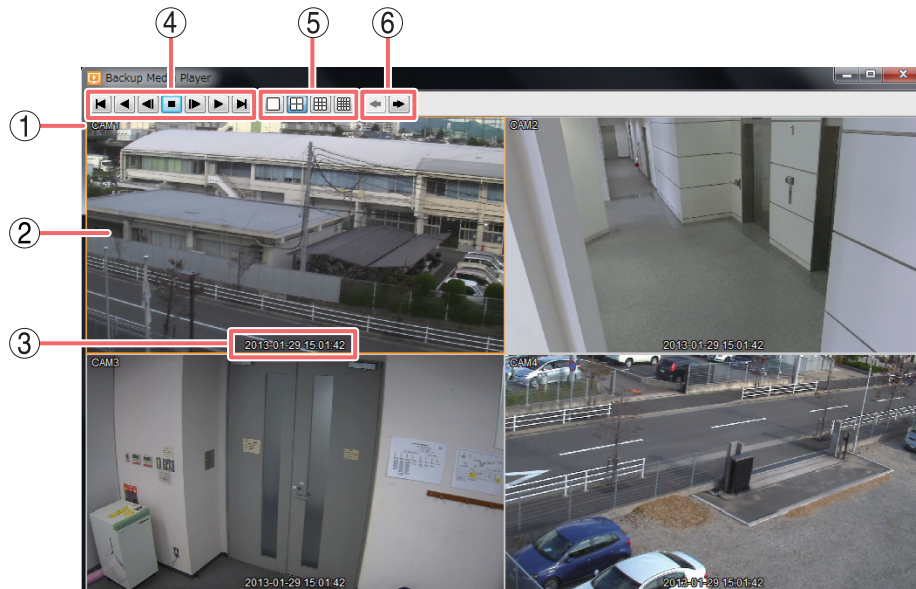
ご注意

- 分割画面で再生音声を聞くと音が途切れることがあります。
- 逆再生中や早送り、早戻し中には音声を出力しません。

[Backup Media Player 画面表示]

Backup Media Player は複数カメラチャンネルの分割画面表示や再生操作ができます。

ご注意 再生開始日時の指定はできません。



- ① カメラ名 : カメラ名称を表示します。
- ② ビューパネル : 再生映像を表示します。選択中のカメラはオレンジ色の枠で表示します。
- ③ 再生情報表示 : 再生映像の日付と時刻を表示します。
- ④ 再生操作部 : ビューパネルに表示した映像の再生時に使用します。

	: 最古		: コマ送り
	: 逆再生、早戻し		: 再生、早送り
	: コマ戻し		: 最新
	: 停止		

- ⑤ 分割画面選択ボタン : 分割画面を変更できます。1画面、4、9、16分割画面を表示します。

メ モ

分割画面表示中に1画面表示したいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、ビューパネルの画面をダブルクリックすると1画面表示になります。さらにダブルクリックすると、元の画面に戻ります。

- ⑥ ページ切替ボタン : 選択した分割画面のページ切替を行います。 ボタンをクリックすると前ページへ、 ボタンをクリックすると次ページへ切り換えます。

● MP4 形式

MP4 形式で保存された映像データを PC で再生できます。

MP4 形式を再生するには H.264 形式のファイルを再生できるプレーヤー (QuickTime player) がインストールされている必要があります。QuickTime player は、バージョン 7.7 以降を使用してください。

QuickTime player のインストーラーは Apple 社の web サイト <http://www.apple.com/jp/quicktime/download/> から入手してください。

[MP4 形式のファイル]

(例) backup.mp4

ご注意

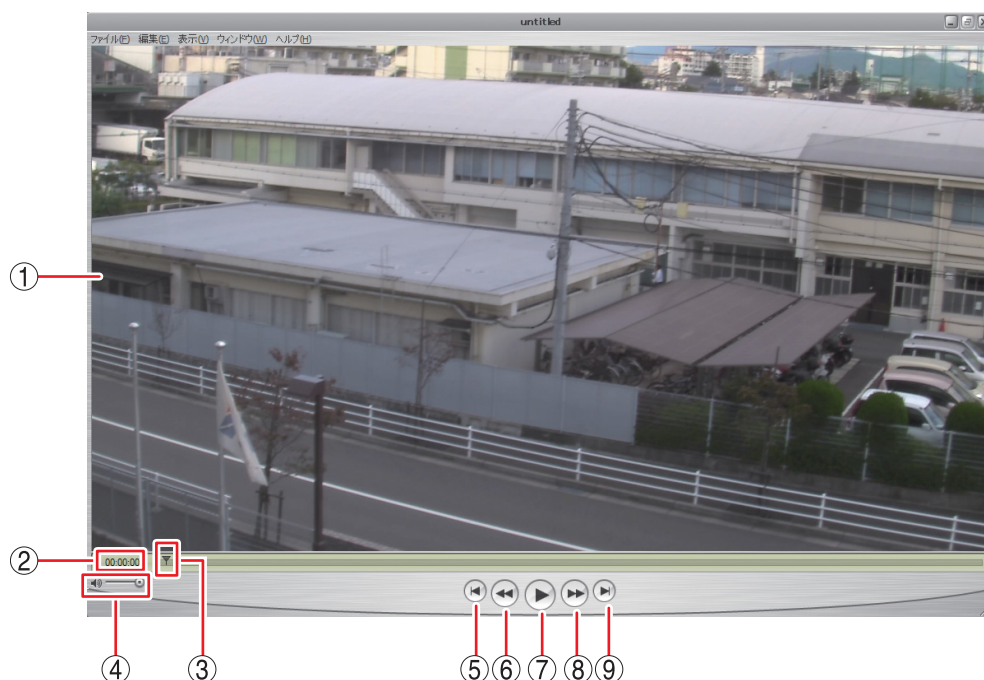
- 再生映像のカメラ名や日時は表示されません。
- 再生する PC によっては、映像の速度が遅くなる場合があります。このようなときには別の PC で再生してください。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

- 1** PC で再生用プレーヤー (QuickTime player) を起動する。
- 2** プレーヤーの「ファイル」→「ファイルを開く」を選択し、バックアップファイルの保存先を開く。
- 3** 再生したい MP4 形式のファイルを選択する。
- 4** 再生操作を行う。

[QuickTime Player 画面表示]

以下では、MP4形式の再生プレーヤーとして QuickTime Player の動作を説明します。



- | | |
|--------------|--|
| ① 映像表示画面 | : バックアップデータの再生映像を表示します。 |
| ② 再生時間 | : バックアップデータ先頭からの経過時間を表示します。 |
| ③ 再生バー | : 再生中の位置を表示します。
再生中に再生バーをクリックすると、その位置まで再生バーと映像が移動します。 |
| ④ ボリューム | : 使用できません。 |
| ⑤ 最古ボタン | : 再生中の映像を停止し、最古の映像を表示します。 |
| ⑥ 早戻しボタン | : 押し続けている間、早戻し再生を行います。 |
| ⑦ 一時停止／再生ボタン | : 再生中は一時停止ボタンになり、再生中の映像を一時停止します。一時停止中は再生ボタンになり、再生バーのカーソル位置から再生を行います。 |
| ⑧ 早送りボタン | : 押し続けている間、早送り再生を行います。 |
| ⑨ 最新ボタン | : 再生中の映像を停止し、最新の映像を表示します。 |

● AVI 形式

AVI 形式で保存された映像データと音声データを PC で再生できます。

AVI 形式を再生するには H.264 形式のファイルを再生できるプレーヤー（Windows Media player）がインストールされている必要があります。

Windows Media player は、バージョン 12 以降を使用してください。

AVI 形式のファイルと同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SMI 形式）が保存されます。

[AVI 形式のファイル]

(例) untitled.avi

untitled.smi

ご注意

- 再生速度を変更したときは、音声途切れたり、音声出力されないことがあります。
- 再生する PC によっては、再生音声が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。このようなときには別の PC で再生してください。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で AVI 形式ファイルを再生できます。

1 PC で AVI 形式のファイルの保存先を開く。

2 再生したい AVI 形式のファイルをダブルクリックする。

Windows Media Player 画面が表示されます。

AVI 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声出力することができます。

メ モ

AVI 形式のファイルが Windows Media Player に関連付けされていない場合は、Windows Media Player 以外のアプリケーションが起動します。

この場合は、起動したアプリケーションを終了して以下の手順で Windows Media Player を起動し、再生してください。

1. 再生したい AVI 形式のファイルを右クリックする。
コマンドメニューが表示されます。
2. 「プログラムから開く」→「Windows Media Player」をクリックする。
Windows Media Player 画面が表示されます。

[Windows Media Player 画面表示]

以下では、AVI形式の再生プレーヤーとしてWindows Media Playerの基本動作を説明します。
詳しくは、Windows Media Player画面上で右クリックし、コマンドメニューの「再生についてのヘルプ」をご覧ください。



- ① ファイル名 : バックアップデータのファイル名を表示します。
- ② 映像表示画面 : バックアップデータの再生映像を表示します。
- ③ 再生バー : 再生中の位置を表示します。
再生中に再生バーをクリックすると、その位置まで再生バーと映像が移動します。
- ④ 再生時間 : バックアップデータの先頭からの経過時間を表示します。
- ⑤ ランダム再生ボタン : ランダム再生のオン／オフを切り換えます。
Windows Media Playerの再生リストに複数のファイルを保存している場合は、ランダム再生をオンにすると、ランダムな順番でファイルを再生します。
- ⑥ 連続再生ボタン : 連続再生のオン／オフを切り換えます。
連続再生をオンにすると、再生が終了したときに再び先頭から再生が始まります。
- ⑦ 停止ボタン : 再生を停止します。
- ⑧ 前へボタン : 押し続けている間、早戻し再生を行います。
- ⑨ 一時停止／再生ボタン : 再生中は一時停止ボタンになり、クリックすると再生中の映像を一時停止します。一時停止中は再生ボタンになり、クリックすると再生バーのカーソル位置から再生を行います。
- ⑩ 次へボタン : 押し続けている間、早送り再生を行います。
- ⑪ 音量ボタン : 音量を調整します。
スピーカマークをクリックすると、ミュートのオン／オフを切り換えます。
[音声を出力するとき] [音声を出力しないとき]



⑫ 全画面表示ボタン : 全画面表示のオン／オフを切り換えます。

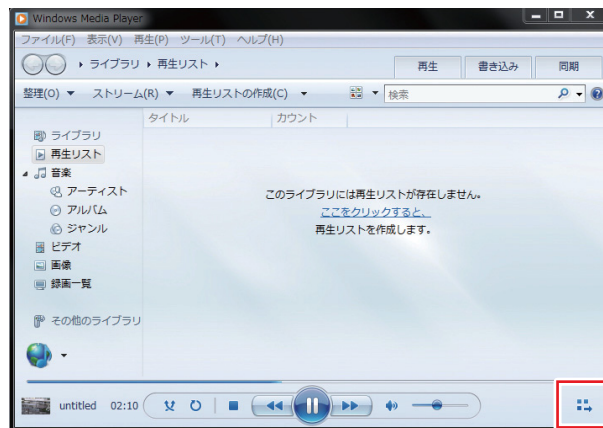
⑬ ライブラリに切り換えボタン

: プレイビューモードから Player ライブラリモードに切り換えます。バックアップデータの再生映像はプレイビューモード画面で表示します。

メモ

Player ライブラリモードからプレイビューモードに切り換えるには、Windows Media Player の右下隅にある「プレイビューに切り換え」ボタンをクリックします。

[Player ライブラリモード画面例]



AVI 形式のファイルを保存した場合、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SMI 形式）が保存されます。

字幕ファイル（SMI 形式）を再生する AVI 形式のファイルと同じフォルダーに入れて、Windows Media Player の以下の設定を行うことで、再生映像のカメラ名や再生日時を表示できます。

1 AVI 形式のファイルを再生する。

2 Windows Media Player 画面上で右クリックする。

コマンドメニューが表示されます。

3 「歌詞、キャプション、および字幕」→「利用できる場合はオン」をクリックして選択する。

メモ

Windows Media Player のバージョンによっては、表示が異なる場合があります。

4 再度、Windows Media Player 画面上で右クリックする。

コマンドメニューが表示されます。

5 「その他のオプション」をクリックする。

オプション画面が表示されます。

6 オプション画面の「セキュリティ」タブをクリックする。

7 「ローカルキャプションがある場合は表示する」にチェックを入れる。

8 「OK」をクリックする。

9 Windows Media Player を再起動する。
再生映像のカメラ名や再生日時が表示されます。



遠隔設定

遠隔設定を使用して、デジタルレコーダーの設定を変更することができます。

ご注意

- 1台のデジタルレコーダーに対して遠隔設定を起動できるのは、先に遠隔設定を起動したPCのみとなります。同じデジタルレコーダーに対して、別のPCで遠隔設定を起動しようとすると警告画面が表示され、起動することができません。
- 遠隔設定は遠隔設定権限があるユーザーのみ可能です。

遠隔設定を起動する

1

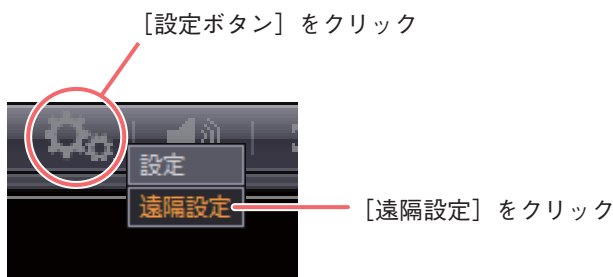
DRNET を起動する。

DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



2

画面右上の「設定ボタン」をクリックする。



ご注意

デジタルレコーダーで設定メニューの操作権限のないユーザーは遠隔設定の操作権限がありません。遠隔設定を使用する場合は、変更を行いたい設定の操作権限を持つユーザーで接続する必要があります。

3

「遠隔設定」をクリックする。

サイトの接続画面が表示されます。

サイトへの接続方法は、P. 22 「サイトの接続」を参照してください。

メ モ

すでにサイトに接続している場合は、サイトの接続画面は表示されません。デジタルレコーダーの設定メニューが表示されます。

4

サイトを選択する。

デジタルレコーダーと同じ設定メニュー画面が表示され、同じように操作ができます。

詳しくは、デジタルレコーダーの「取扱説明書」を参照してください。

■ 遠隔設定を終了する

1 設定メニューのトップメニューに移動する。

2 「EXIT」をクリックする。



■ 遠隔設定の操作について

遠隔設定の設定動作はデジタルレコーダーと同じです。デジタルレコーダーの「取扱説明書」を参照してください。

ただし、デジタルレコーダーの「取扱説明書」は、デジタルレコーダー前面のキー操作で説明しています。DRNET ではデジタルレコーダーのキー操作を以下のマウス操作として使用してください。

デジタルレコーダー（キー操作）	DRNET（マウス操作）
「・・・を選択し、  を押す」	→ 「・・・をクリックする」
「方向指示キーで選択」	→ 「クリックで選択」
「上下キーで数値を増減」	→ 「メニュー画面内の上下ボタンをクリックする」

● ご注意

- 遠隔設定はホイール回転操作に対応していません。
- HD-SDI レコーダーは遠隔設定でもモーション範囲の設定を行うことができますが、DRNET と HD-SDI レコーダーでは設定方法が異なります。設定方法については P. 72 「遠隔設定でモーション範囲を設定する」を参照してください。

■ 遠隔設定で設定できないこと

遠隔設定の動作はデジタルレコーダーと同じですが、下記の設定は遠隔設定で行うことができません。デジタルレコーダーで設定してください。

[C-DR044 / 084 / 164 シリーズ、C-DV044 / 084 / 164 シリーズ]

- デジタルレコーダーを使用するユーザーのログアウト
- シャットダウン
- ハードディスクフォーマット
- 設定データの保存／入力
- ログの保存
- カメラ映像の明るさ調整（画質設定）
- アナログ RGB 出力解像度の変更
- モーション範囲の設定

[HD-SDI レコーダー]

- デジタルレコーダーを使用するユーザーのログアウト
- シャットダウン
- ハードディスクフォーマット
- 設定データの保存／入力
- ログの保存（H-R021-1 以外は可能）

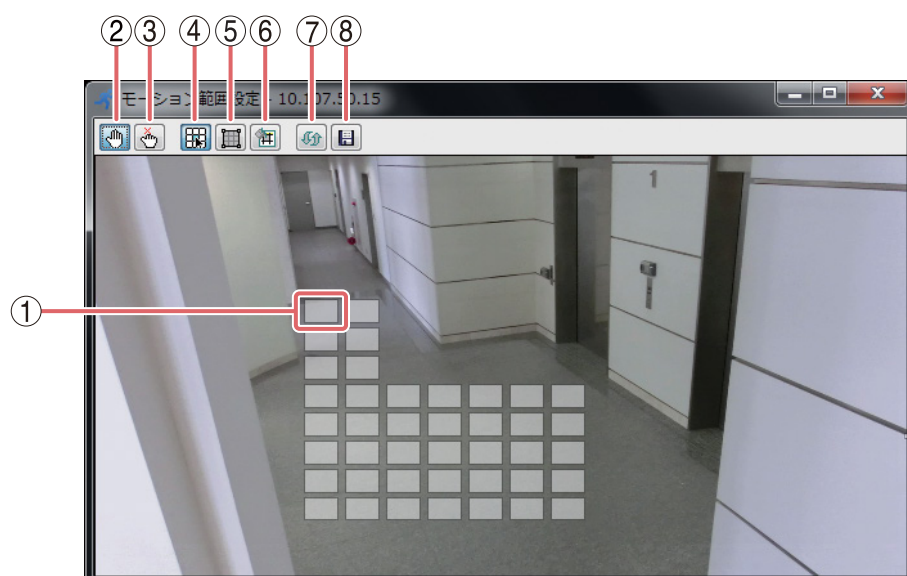
■ 遠隔設定でモーション範囲を設定する

HD-SDIレコーダーは、遠隔設定を使用してモーション範囲を設定することができます。
「イベント→モーション→モーションタブ」画面の「範囲」で設定をクリックするとモーション範囲設定画面が表示されます。範囲設定以外の内容に関してはHD-SDIレコーダーの「取扱説明書」を参照してください。

ご注意

C-DR044／084／164シリーズ、C-DV044／084／164シリーズは、モーション範囲を設定できません。

[モーション範囲設定画面]



- | | |
|-------------|--|
| ① モーションブロック | : モーション検知を行う範囲をブロックで表示します。 |
| ② 配置ボタン | : モーションブロックを配置するときに使用します。 |
| ③ 解除ボタン | : モーションブロックを解除するときに使用します。 |
| ④ ブロック指定ボタン | : モーションブロックを配置または解除する場所をブロック単位で指定したいときに使用します。 |
| ⑤ 範囲指定ボタン | : モーションブロックを配置または解除する場所を範囲指定したいときに使用します。
マウスをドラッグ*したときに表示される枠で範囲を指定します。 |
| ⑥ 全範囲指定ボタン | : 全範囲のモーションブロックを配置または解除するときに使用します。 |
| ⑦ 設定取得ボタン | : HD-SDIレコーダーのモーション範囲設定を取得して画面に反映します。 |
| ⑧ 設定保存ボタン | : 変更したモーション範囲設定をHD-SDIレコーダーに保存します。 |

* マウスの左ボタンを押したままカーソルを移動することをドラッグといいます。

● モーション範囲を設定する

1 「解除ボタン」をクリックする。

2 「全範囲指定ボタン」をクリックする。

3 カメラ映像の画面をクリックする。
全範囲のモーションブロックが解除されます。

4 「配置ボタン」をクリックする。

5 「ブロック指定ボタン」をクリックする。

範囲指定ボタンをクリックしてマウスをドラッグしても、モーションブロックを配置する範囲を指定できます。

6 モーション検知を行いたい位置をクリックする。
モーションブロックが表示され、モーション検知が有効になります。

7 「設定保存ボタン」をクリックする。
モーション範囲の設定がHD-SDIレコーダーに保存されます。

8 モーション範囲設定画面右上にある「X」ボタンをクリックする。
モーション範囲設定画面が閉じます。

設定保存を行わずに「X」ボタンをクリックすると、設定保存ダイアログが表示されます。設定を保存して終了する場合は「はい」を、設定を保存しないで終了する場合は「いいえ」をクリックしてください。

DRNET 設定

DRNET の設定を行います。

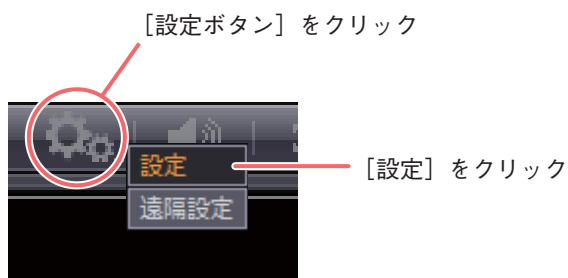
ご注意 DRNET 設定は設定権限があるユーザーのみ可能です。

1 DRNET を起動する。

DRNET の起動方法は、P. 14 「DRNET を起動する」を参照してください。



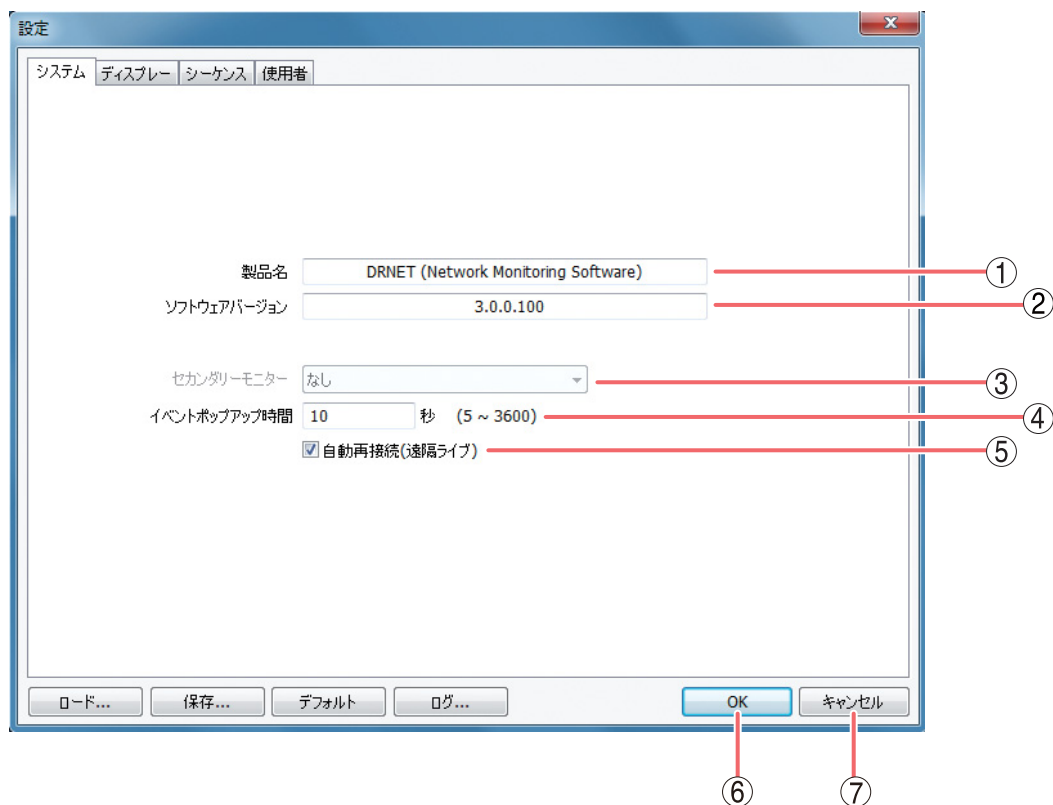
2 画面右上の「設定ボタン」をクリックする。



3 「設定」をクリックする。 設定画面が表示されます。

■ システム

「システム」タブをクリックすると表示します。本ソフトウェアの製品名やバージョンが確認できます。



- ① 製品名 : 本ソフトウェアの製品名が表示されます。
- ② ソフトウェアバージョン : 本ソフトウェアのバージョンが表示されます。
- ③ セカンダリーモニター : PCにセカンダリーモニターが接続され、使用可能な場合に設定が有効になります。
遠隔ライブや遠隔再生を選択すると、DRNET 起動時に DRNET をもう1つセカンダリーモニターに起動します。
コールバックを選択すると、DRNET 起動時に DRNET Callback イベントリストをセカンダリーモニターに起動します。
[選択] なし／遠隔ライブ／遠隔再生／コールバック

ご注意

メインモニターの DRNET を終了すると、セカンダリーモニターの DRNET も終了します。

- ④ イベントポップアップ時間 : イベントポップアップを継続する時間を設定します。(P. 38 「イベントポップアップ表示」)
- ⑤ 自動再接続 (遠隔ライブ) : 遠隔ライブ時に表示しているデジタルレコーダーとの接続が切れたときに、再接続を自動的に行う場合にチェックを入れます。

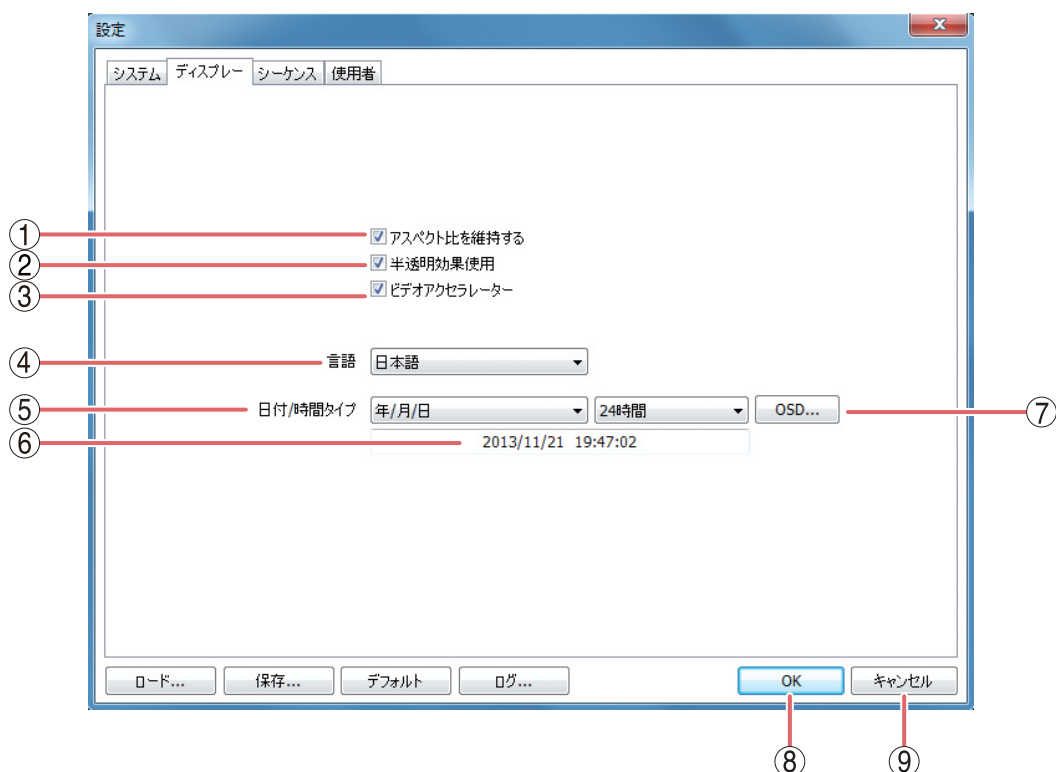
ご注意

PC とデジタルレコーダーを LAN ケーブルで直接接続した場合、再接続は自動で行われません。

- ⑥ OK : 設定を保存して画面を閉じます。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存しないで画面を閉じます。

■ ディスプレー

「ディスプレイ」タブをクリックすると表示します。画面表示に関する設定を行います。



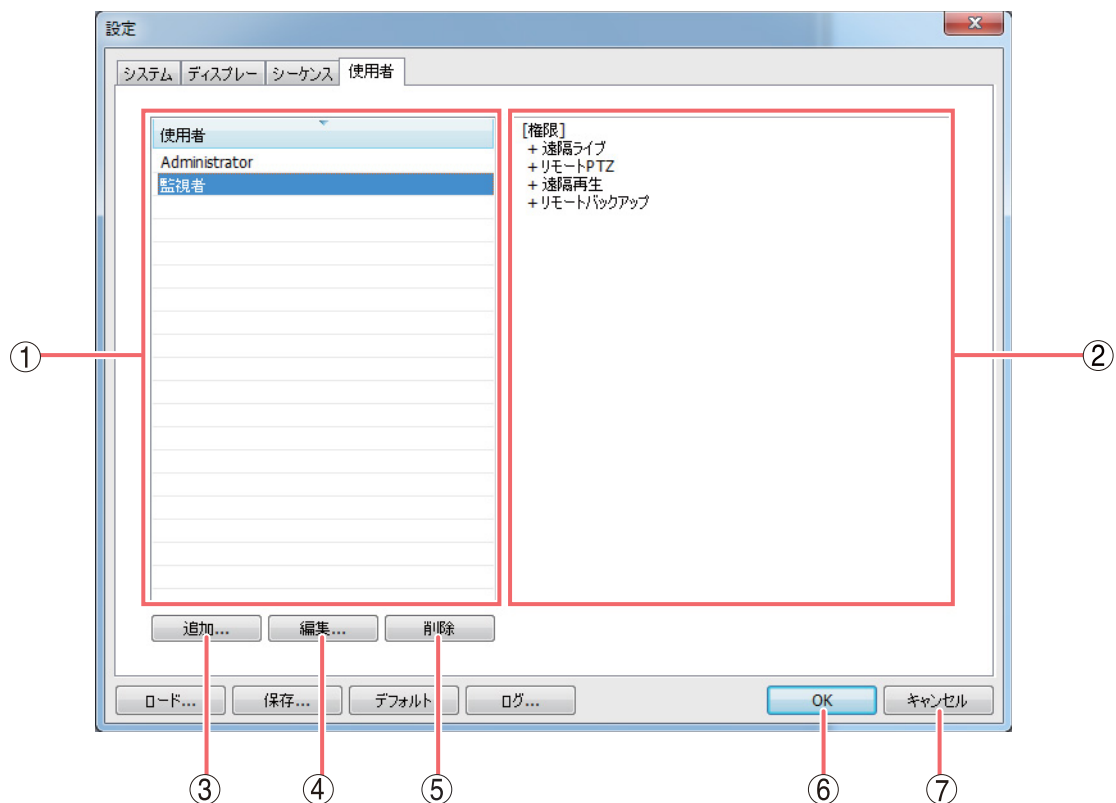
- ① アスペクト比を維持する : チェックを入れると、ビューパネルの大きさを変更するときに映像のアスペクト比を維持します。チェックを外すとビューパネルのサイズに合わせて映像を表示します。
- ② 半透明効果使用 : チェックを入れると半透明効果機能が動作します。遠隔設定で接続中のデジタルレコーダーの設定メニュー画面を表示したときにライブ映像がメニューの背景に半透明表示されます。
- ご注意**
お使いのPCによっては、半透明表示した映像にちらつきが発生することがあります。その場合はチェックを外してください。
- ③ ビデオアクセラレーター : チェックを入れるとビデオアクセラレーター機能が動作します。PCのグラフィック性能を最大限に利用することができます。
- ご注意**
お使いのPCによっては、映像に不具合が発生する可能性があります。その場合はチェックを外してください。
- ④ 言語 : DRNETの言語表示を設定します。日本語に設定してあります。設定を変更しないでください。
- ⑤ 日付／時間タイプ : DRNETの日時表示形式を設定します。
[日付選択]
年-月-日／年.月.日／年/月/日
月-日-年／月.日.年／月/日/年
日-月-年／日.月.年／日/月/年
[時間選択]
12時間（AM表示、PM表示）／24時間（24時間表示）
- ⑥ 日時表示 : 現在選択している日時表示形式を表示します。

- ⑦ OSD : DRNET の日時表示の位置と文字サイズを設定します。日時表示を非表示にすることもできます。
[サイズ] 12～40
[ポジション] 左上／中央上／右上／左下／中央下／右下
- ⑧ OK : 設定を保存して画面を閉じます。
- ⑨ キャンセル : 設定を保存しないで画面を閉じます。

■ 使用者

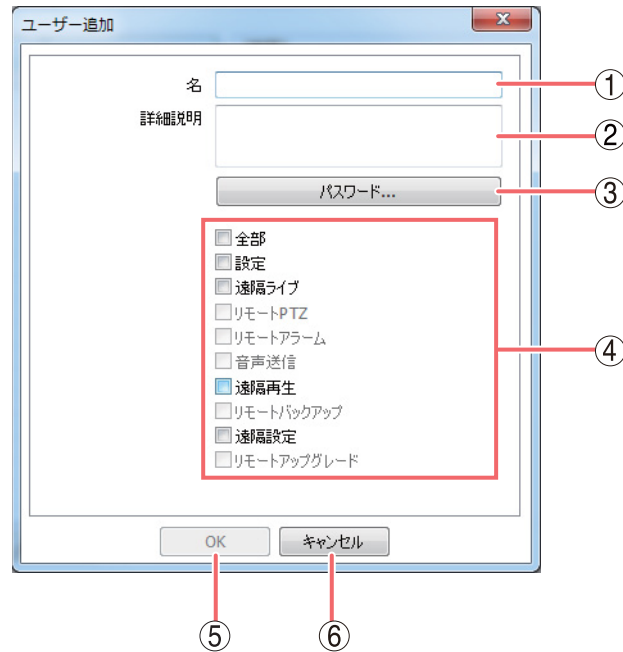
DRNET 起動時に選択する使用者によって使用できる機能を制限することができます。インストール直後は Administrator のみ登録されています。

ご注意 インストール直後の状態では、Administrator にはパスワードが設定されていません。運用前に必ずパスワードを設定してください。



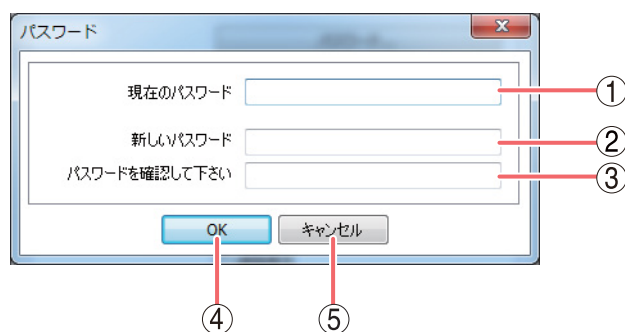
- ① 使用者 : 登録されている使用者が表示されます。クリックして選択することができます。
- ② 権限 : 選択されている使用者の権限が表示されます。
- ③ 追加 : 使用者を追加します。クリックするとユーザー追加画面が表示されます。(P. 78 「ユーザー追加画面」)
- ④ 編集 : 選択されている使用者の権限を編集します。クリックするとユーザー編集画面が表示されます。
ご注意 Administrator は、パスワード以外は編集できません。
- ⑤ 削除 : 選択されている使用者を削除します。
ご注意 Administrator は削除できません。
- ⑥ OK : 設定を保存して画面を閉じます。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存しないで画面を閉じます。

[ユーザー追加画面]



- | | |
|---|---|
| ① 名 | : 使用者の名前を入力します。 |
| ② 詳細説明 | : 使用者の情報についての説明を入力します。入力しなくても使用できます。 |
| ③ パスワード | : パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P. 79「パスワード入力画面」) |
| ご注意 | |
| パスワードが設定されていなければ簡単にログインできます。権限のない使用者が操作できないように必ずパスワードを設定してください。 | |
| ④ 操作権限項目 | : 権限を有効にするには、チェックボックスにチェックを入れます。 |
| 全部 | : すべての権限を与えます。 |
| 設定 | : DRNET の設定を行う権限を与えます。 |
| 遠隔ライブ | : DRNET ライブを起動する権限を与えます。遠隔ライブ権限にチェックがないとリモートPTZ、リモートアラーム、音声送信の権限を与えることはできません。 |
| リモートPTZ | : DRNET ライブからデジタルレコーダーのコンビネーションカメラを操作する権限を与えます。 |
| リモートアラーム | : DRNET ライブからデジタルレコーダーのコントロール出力の ON / OFF とアラーム解除をする権限を与えます。 |
| 音声送信 | : DRNET ライブから音声送信する権限を与えます。 |
| 遠隔再生 | : DRNET 再生を起動する権限を与えます。遠隔再生権限にチェックがないとリモートバックアップの権限を与えることはできません。 |
| リモートバックアップ | : DRNET 再生からデジタルレコーダーの録画データをバックアップする権限を与えます。 |
| | モ 静止画の画面保存はリモートバックアップの権限がなくても行えます。 |
| 遠隔設定 | : デジタルレコーダーの設定を遠隔操作で行う権限を与えます。 |
| リモートアップグレード | : 使用できません。 |
| ⑤ OK | : 設定を保存して画面を閉じます。 |
| ⑥ キャンセル | : 設定を保存しないで画面を閉じます。 |

[パスワード入力画面]



パスワードには、半角英数記号を使用できます。最大16文字入力できます。

ご注意

- パスワードは本アプリケーションを使用する上で非常に重要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大事に保管してください。
- インストール直後の Administrator のパスワードは設定されていません。運用前に必ずパスワードを設定してください。

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ① 現在のパスワード | : 現在のパスワードを入力します。 |
| ② 新しいパスワード | : 新たに登録したいパスワードを入力します。 |
| ③ パスワードを確認して下さい | : 確認のため、新しいパスワードと同じパスワードを入力します。 |
| ④ OK | : 入力が正しければパスワードを登録して画面を閉じます。 |
| ⑤ キャンセル | : 設定を変更しないで画面を閉じます。 |

■ ロード

DRNET 設定の「ロード...」ボタンをクリックすると、DRNET 設定の設定内容を読み出すことができます。詳細は、P. 88「DRNET 設定一覧表」を参照してください。読み出しの手順は、以下の通りです。

- 1 DRNET 設定の「ロード...」ボタンをクリックする。
- 2 保存したファイル（ファイル拡張子が「db」のファイル）を開く。
DRNET 設定の設定内容が変更されます。

■ 保 存

DRNET 設定の「保存...」ボタンをクリックすると、DRNET 設定の設定内容を保存することができます。詳細は、P. 88「DRNET 設定一覧表」を参照してください。保存の手順は、以下の通りです。

- 1 DRNET 設定の「保存...」ボタンをクリックする。
- 2 保存する場所とファイル名を指定して「保存 (S)」をクリックする。
ファイル拡張子「db」として保存します。

×	モ
---	---

ファイル名に次の記号は使用できません。「*、/、?、¥、<、>、&、"、|、:、;」

■ デフォルト

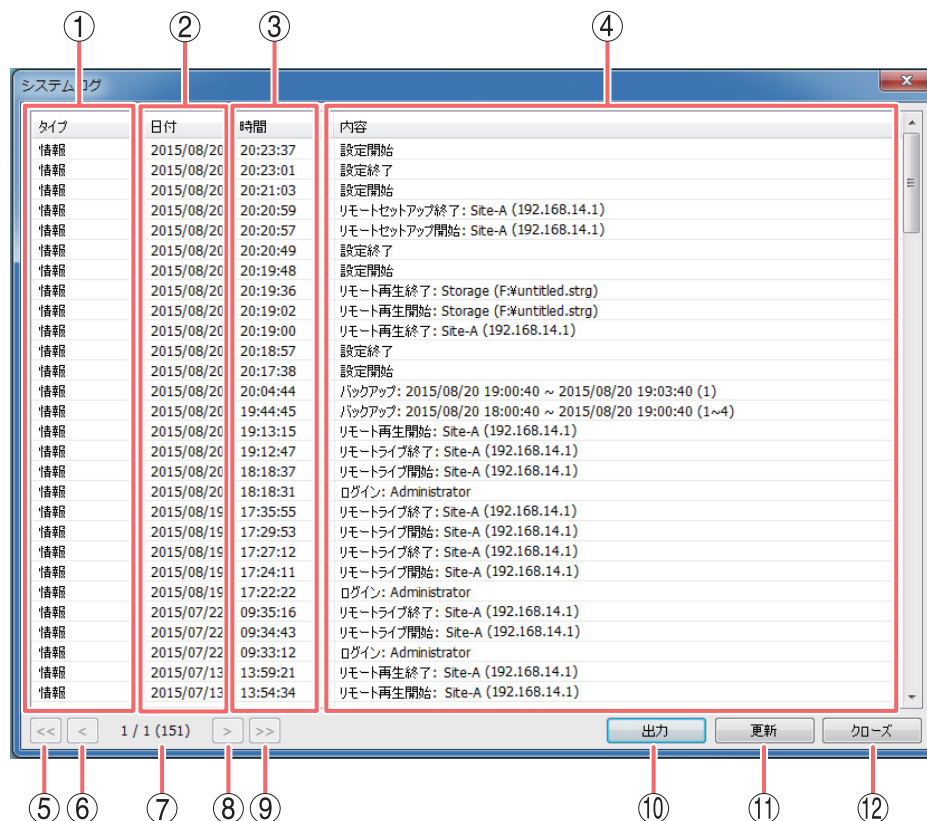
DRNET 設定の「デフォルト」ボタンをクリックすると、DRNET 設定の設定内容が初期値に戻ります。詳細は、P. 88「DRNET 設定一覧表」を参照してください。

■ DRNET ログ

DRNET 設定の「ログ...」をクリックすると、DRNET のシステムログ画面を表示します。

✕ モ 最大 10,000 件のログが保存されます。10,000 件を超えると古いログから順に消去されます。

[システムログ画面]



- ① タイプ : 「情報」と表示されます。
- ② 日付 : ログを保存した日付を表示します。
- ③ 時間 : ログを保存した時刻を表示します。
- ④ 内容 : 以下の内容を表示します。

ログ内容	保存条件
ログイン : <u>Administrator</u>	DRNET にログインしたとき 下線部はログインユーザーを表示します。
設定開始	DRNET の設定画面を開いたとき
設定終了	DRNET の設定画面を終了したとき
リモートライブ開始 : <u>サイト名 (IP アドレス)</u>	デジタルレコーダーに接続したとき 下線部は、接続の種類を表示します。 二重下線部は、接続したサイト名 (IP アドレス) を表示します。
リモートライブ終了 : <u>サイト名 (IP アドレス)</u>	デジタルレコーダーとの接続を終了したとき 下線部は、接続の種類を表示します。 二重下線部は、接続したサイト名 (IP アドレス) を表示します。
バックアップ : <u>開始日時～終了日時 (1～4)</u>	デジタルレコーダーの録画データをバックアップしたとき 下線部は、録画データの開始／終了日時を表示します。 二重下線部は、カメラ番号を表示します。
リモート再生開始 : Storage (保存先¥ファイル名)	バックアップしたデータの再生を開始したとき 下線部は、保存先とファイル名を表示します。
リモート再生終了 : Storage (保存先¥ファイル名)	バックアップしたデータの再生を終了したとき 下線部は、保存先とファイル名を表示します。

- ⑤ << : 最初のページに移動します。
- ⑥ < : 前のページに移動します。
- ⑦ ページ番号／ページ数 (ログ件数) : 現在のページ番号とすべてのページ番号およびログの全件数を表示します。
- ⑧ > : 次のページに移動します。
- ⑨ >> : 最後のページに移動します。
- ⑩ 出力 : すべてのログをテキストファイルに保存します。クリックして保存場所とファイル名を指定します。
- ⑪ 更新 : ログ情報を更新します。
- ⑫ クローズ : 画面を閉じます。

DRNET Callback

デジタルレコーダーで緊急録画やセンサー入力、モーション検知、ビデオロス、システムイベントなどのイベントが発生すると、デジタルレコーダーからのイベント通知を受信し、遠隔通知イベントを表示することができます。

メモ

- デジタルレコーダーから DRNET Callback への接続に、DRNET のサイト登録は必要ありません。
- イベント発生による通知は、イベント録画状態とは関連していません。イベント録画を行っていない場合でも、イベントが発生するとイベント通知を受信します。
- 緊急録画を開始したときの遠隔通知イベントの表示は、HD-SDI レコーダーを使用した場合に可能です。

■ 遠隔通知イベントを受信するには

DRNET Callback はデジタルレコーダーに各種イベントが発生した場合、その遠隔通知イベントを受信します。

ご注意

- セキュリティソフトやファイアウォールの設定により、遠隔通知イベントを受信できないことがあります。受信できない場合は、設定を変更してください。
- セキュリティソフトやファイアウォールの設定変更により生じたセキュリティリスク、障害、損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

● デジタルレコーダーを設定する

遠隔通知イベントを受信するには、デジタルレコーダーを設定する必要があります。詳しい設定方法はデジタルレコーダーの「取扱説明書」を参照してください。

「ネットワーク → 遠隔通知 → コールバックタブ」

コールバック間隔 : 同一イベントが発生した場合に、イベントを通知しない間隔を設定します。

アドレス : DRNET Callback を起動する PC の IP アドレスを入力します。

ポート : DRNET Callback がイベント通知を受信するポートを設定します。

メモ DRNET Callback で設定する「コールバックポート」に合わせてください。
(P. 85 「Callback イベントリストの表示」)

「イベント → 各イベント → 遠隔通知タブ」

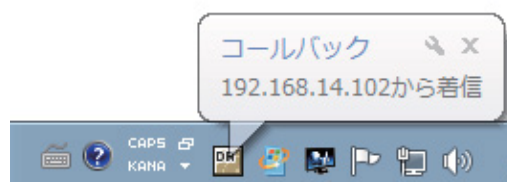
遠隔通知 : 各イベント発生時に DRNET Callback に通知する PC の IP アドレスにチェックを入れます。

● DRNET Callback を起動する

遠隔通知イベントは、DRNET Callback が起動中のみ受信できます。DRNET Callback が起動していないと、遠隔通知イベントを受信することはできません。

- 1 スタートメニューの「すべてのプログラム → DRNET」をクリックして「DRNET Callback」をクリックする。

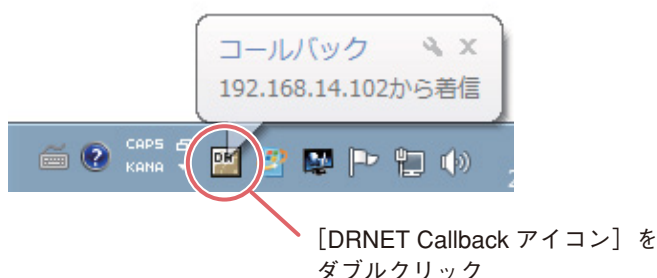
DRNET Callback アイコンが Windows 画面右下のタスクトレイ上に表示されます。



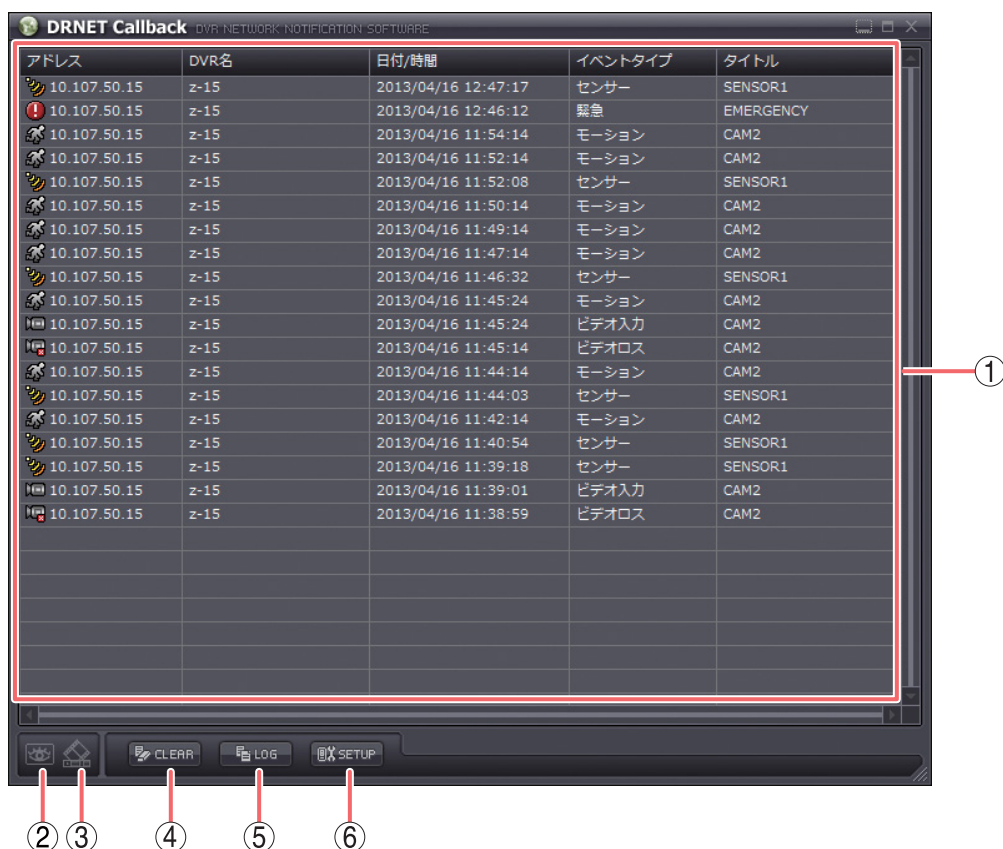
タスクトレイ上に DRNET Callback アイコンが表示されていると、DRNET Callback は起動しています。遠隔通知イベントを受信すると DRNET Callback アイコンの上に着信のメッセージが表示されます。このメッセージは、マウスやキーボードなどから操作を行うと消えます。

■ Callback イベントリストの表示

DRNET Callback のイベントリストを開くには、タスクトレイ上の DRNET Callback アイコンをダブルクリックしてください。



- ☒ モ 設定画面の「システム起動時にコールバックを起動させる。」の項目にチェックを入れると、Windows 起動時に自動的に DRNET Callback をタスクトレイに表示します。



- ① 遠隔通知イベントリスト：DRNET Callback への遠隔通知イベントです。最新のものから 1,000 件を表示します。DRNET Callback を終了すると、イベントはすべて消去されます。各表示欄の詳細内容は以下のとおりです。

ご注意

短期間に同一イベントが複数入っても、デジタルレコーダー設定メニューの「ネットワーク → 遠隔通知 → コールバックタブ」で設定された「コールバック間隔」が経過するまでは同一のイベントは通知されません。

アドレス：イベント通知を送信したデジタルレコーダーの IP アドレスを表示します。
DVR 名：デジタルレコーダーで設定した DVR 名を表示します。
日付/時間：イベント発生時のデジタルレコーダーの日時を表示します。
イベントタイプ：発生したイベントの種類を表示します。

🔊 センサー：センサー入力があったとき
👤 モーション：モーション検知があったとき

	ビデオロス	: ビデオロスがあったとき
	ビデオ入力	: ビデオロスから復帰したとき (HD-SDI レコーダーのみ)
	HDD エラー	: ハードディスクに異常を検出したとき
	録画異常	: ハードディスクが認識できず、録画できなくなったとき
	HDD 接続エラー	: ハードディスクの接続台数に異常を検出したとき
	残容量警告	: ハードディスクの上書きを禁止している場合に容量いっぱいまたは残容量警告しきい値に達したとき
	S.M.A.R.T. エラー	: ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報からエラー情報を検出したとき
	S.M.A.R.T. 温度	: ハードディスクの温度がデジタルレコーダーで設定した S.M.A.R.T. 限界温度に達したとき
	ファン異常検出	: ファンに異常を検出したとき
ご注意 H-R021-1、H-R041-2、H-R042-2 はファンの異常を遠隔通知で受け取ることはできません。		
	緊急	: 緊急録画を開始したとき (HD-SDI レコーダーのみ)

タイトル

: 発生したイベントリストに関連するセンサー名やカメラ名などを表示します。

② ライブアイコン

: 遠隔通知イベントに表示中のイベントをクリックするとアイコンが有効になります。アイコンをクリックすると、DRNET ライブが起動し、対象のデジタルレコーダーのライブ映像を表示することができます。

ご注意 起動時に DRNET のログイン画面が表示されます。DRNET のユーザー名とパスワードを入力してください。その後、続けてデジタルレコーダーのログイン画面が表示されます。デジタルレコーダーのユーザー名とパスワードを入力してください。

③ 再生アイコン

: 通知イベントリストに表示中のイベントをクリックするとアイコンが有効になります。アイコンをクリックすると、DRNET 再生が起動し、対象のデジタルレコーダーの再生映像を表示させることができます。

ご注意 起動時に DRNET のログイン画面が表示されます。DRNET のユーザー名とパスワードを入力してください。その後、続けてデジタルレコーダーのログイン画面が表示されます。デジタルレコーダーのユーザー名とパスワードを入力してください。

④ CLEAR

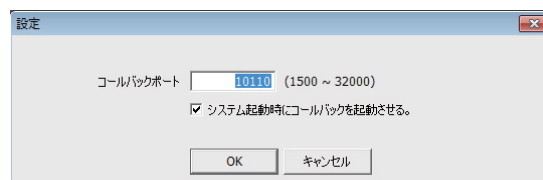
: 現在表示中の遠隔通知イベントをイベントリストからすべて消去します。

⑤ LOG

: ログ検索画面が表示されます。(P. 87 「Callback ログ」)

⑥ SET UP

: 設定画面が表示されます。



コールバックポート

: DRNET Callback で使用するネットワークのポートを設定します。ローカルエリアネットワークで使用するときは変更する必要はありません。
(インストール時: 10110)

 デジタルレコーダー設定メニューの「ネットワーク → 遠隔通知 → コールバックタブ」で設定するポート番号に合わせてください。

システム起動時にコールバックを起動させる。

: チェックを入れると、Windows 起動時に自動的に DRNET Callback を起動します。(P. 84 「DRNET Callback を起動する」)

ご注意 セカンダリーモニターにコールバックを使用する場合は、チェックを外してください。(P. 75 「システム」)

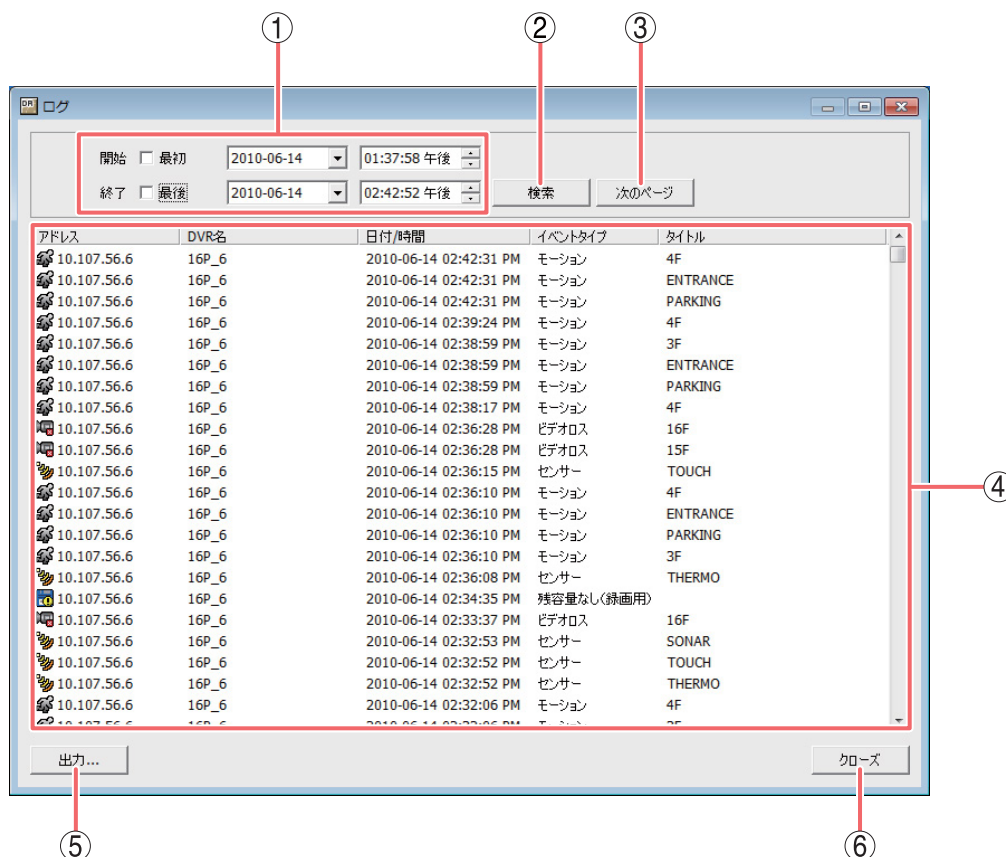
■ Callback ログ

DRNET Callbackで受信した遠隔通知イベントは、PCにログファイルとして保存されます。

DRNET Callback画面にある「LOG」ボタンをクリックするとログ検索画面が表示され、設定した期間のイベントを検索表示することができます。また、検索結果をtxt形式、またはcsv形式で出力することもできます。ログはDRNET Callbackを終了しても消えません。

ご注意 DRNET Callback を起動していないとログは保存されません。

☒ モ ログファイルに保存される遠隔通知イベントは、最大10万件です。10万件以上は古いログから順に消去されます。



- ① 検索期間設定部 : ログを検索したい期間を設定します。
「最初」にチェックを入れると、指定した開始時刻ではなく、保持しているログの最初から「終了」で指定した時刻まで検索します。
「最後」にチェックを入れると、「開始」で指定した時刻から保持しているログの最後まで検索します。
- ② 検索 : クリックすると、設定した期間の遠隔通知イベントを検索します。
- ③ 次のページ : 1,001件以上のログがある場合に有効になります。クリックすると、次の1,000件を表示します。
- ④ 検索結果 : 設定した検索期間のログを1,000件ずつ表示します。
- ⑤ 出力 : クリックすると、現在表示中の検索結果をtxt形式、またはcsv形式で出力することができます。
- ⑥ クローズ : クリックすると画面を閉じます。

DRNET 設定一覧表

DRNET インストール時の初期設定を一覧表示しています。

○印は、設定保存可能な項目（A欄 P. 80「保存」、設定を初期値に戻すことが可能な項目（B欄 P. 80「デフォルト」）を表します。

ソフトウェア	項目		A	B	初期設定
DRNET	システム	セカンダリーモニター	○	○	なし
		イベントポップアップ時間	○	○	10 秒
		自動再接続	○	○	チェックあり
	ディスプレイ	アスペクト比	○	○	チェックあり
		半透明効果使用	○	○	チェックあり
		ビデオアクセラレーター	○	○	チェックあり
		言語	○	○	日本語
		日付タイプ	○	○	年／月／日
		時間タイプ	○	○	24 時間
		OSD	○	○	12
		サイズ	○	○	12
		ポジション	○	○	中央下
		非表示にする	○	○	チェックなし
	シーケンス	シーケンスリスト			なし
		シーケンス時間	○	○	10 秒
DRNET Callback	使用者	使用者			Administrator のみ
	接続設定	サイトリスト			なし
		お気に入り			なし
	コールバックポート		○		10110
	自動起動		○		チェックなし



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター
 商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
 受付時間 9:00 ~ 17:00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル **0120-108-117**
 ナビダイヤル 0570-064-475（有料）
 FAX 0570-017-108（有料）
 ※ PHS、IP 電話からはつながりません。

最寄りの営業所については、下記のホームページをご確認ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>